

第2期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略
効果検証報告書
(対象年度 令和5年度)

令和6年10月

厚木市

目 次

1	第2期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要	1
(1)	策定の目的	2
(2)	第2期総合戦略の基本方針	2
(3)	四つの基本目標	2
(4)	重要な視点	3
(5)	八つの数値目標	3
(6)	基本目標・施策の体系	4
2	第2期総合戦略の効果検証について	7
(1)	目的	8
(2)	対象年度	8
(3)	効果検証の方法	8
(4)	効果検証結果の活用	8
3	第2期総合戦略効果検証結果（総論）	9
	【総合評価】	10
	【厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議からの意見】	11
4	基本目標ごとの評価	13
	基本目標1（転入促進）	13
	基本目標2（雇用促進）	19
	基本目標3（合計特殊出生率上昇）	25
	基本目標4（転出抑制）	31
	（別冊） 主な取組 令和5年度の実績	

1 第2期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

1 第2期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

(1) 策定の目的

我が国は、平成20（2008）年から既に人口減少時代に突入し、地域社会の維持や人口減少の克服という課題に直面しています。このような状況の中、平成26（2014）年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、同年12月には、人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び国の5か年の政策目標・施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

これを受けて、地方公共団体においては、国の長期ビジョン及び国の第1期総合戦略を勘案して、地方公共団体における人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」と地域の実情に応じた「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に努めることとなりました。

このような国の取組を踏まえ、本市では、平成28年（2016）年3月に本市における人口の現状を分析し、人口の将来展望と目指すべき将来の方向を示した「厚木市人口ビジョン」を策定するとともに、本市の実情に応じた、人口減少を克服するための施策を位置付ける「厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期総合戦略」という。）を策定し、合計特殊出生率の上昇、定住促進及び雇用の創出に向けた取組を推進してきました。

本市においては、第1期総合戦略の対象期間が令和2（2020）年度をもって終了となりましたが、今後も人口減少・超高齢社会の進展が見込まれることから、本市の実情に合わせた地方創生に向けた取組を引き続き推進する必要があります。

このため、最新のデータに基づき、人口の将来展望等を見直すために、人口ビジョンを改定するとともに、令和3（2021）年度を始期とする第2期厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期総合戦略」という。）を策定しました。

(2) 第2期総合戦略の基本方針

市民、事業者、議会及び行政が、人口減少に対する危機感及び問題意識を共有し、人口の将来展望の実現に向け「合計特殊出生率の上昇」、「定住促進」及び「雇用の創出」に市民協働で取り組み、将来にわたって活力ある地域社会の維持・発展を目指す。

(3) 四つの基本目標

第1期総合戦略の効果検証等で明らかとなった本市の課題や特徴等を踏まえ、次の四つの基本目標を設定し、人口の将来展望の実現に向けた施策に取り組みます。

また、政策効果を客観的な指標により検証・改善を行うため、施策ごとに重要業績評価指標（以下「KPI」という。）を設定しています。

基本目標1 【転入促進】	地域の魅力発信・人材交流と都市機能の向上により、活気に満ちたまちをつくる
基本目標2 【雇用創出】	働く場を創出し、経済活動が盛んなまちをつくる
基本目標3 【合計特殊出生率上昇】	結婚・出産・子育ての希望をかなえることができるまちをつくる
基本目標4 【転出抑制】	誰もが安心して自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる

(4) 重要な視点

四つの基本目標を施策横断的に推進するため、次の四つを重要な視点として位置付け取り組みます。

- SDGsの理念や目標達成に向けた施策の展開
- Society5.0の実現に向けた技術を活用した地域課題の解決
- 誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現
- 感染症に伴う新たな日常に対応した地域社会の構築

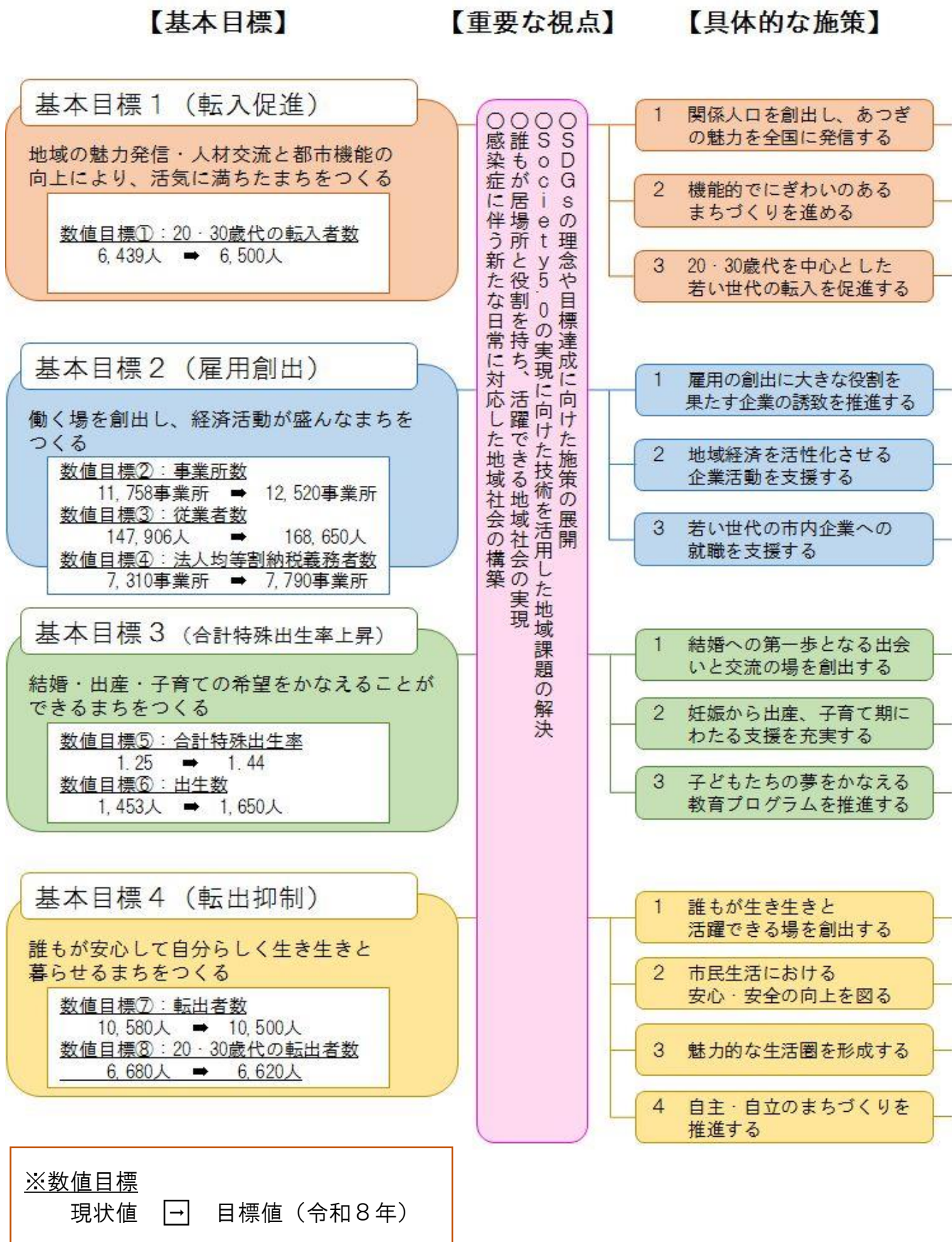
(5) 八つの数値目標

第2期総合戦略の対象期間の最終年度となる令和8（2026）年度の数値目標を、基本目標ごとに次のとおり定めています。

基本目標		数値目標				
1	転入促進	1	20・30歳代の 転入者数	6,439人 令和元（2019）年	→	6,500人 令和8（2026）年
2	雇用創出	2	事業所数	11,758事業所 令和元（2019）年	→	12,520事業所 令和8（2026）年
		3	従業者数	147,906人 平成28（2016）年	→	168,650人 令和8（2026）年
		4	法人均等割 納税義務者数	7,310事業所 令和元（2019）年	→	7,790事業所 令和8（2026）年
3	合計特殊出生率上昇	5	合計特殊出生率	1.25 平成30（2018）年	→	1.44 令和8（2026）年
		6	出生数	1,453人 令和元（2019）年	→	1,650人 令和8（2026）年
4	転出抑制	7	転出者数	10,580人 令和元（2019）年	→	10,500人 令和8（2026）年
		8	20・30歳代の 転出者数	6,680人 令和元（2019）年	→	6,620人 令和8（2026）年

(6) 基本目標・施策の体系

四つの基本目標の達成に向け、八つの数値目標を設定し、具体的な施策に取り組みます。



【主な取組】

①都市間交流の促進	②観光地の魅力創出	③あつぎの魅力の発信力強化
①都市機能の向上	②商業の活性化	
①転入を促進する支援の充実		
①新たな産業拠点の創出	②企業誘致の推進	
①中小企業の経営支援		
①市内企業への就職支援の充実		
①出会いの場や交流の場の創出		
①妊娠・出産への支援の充実	②子育て世帯への支援の充実	③子育て環境の充実
①魅力ある教育環境の充実		
①市民の健康保持増進	②学ぶ場と活躍の場の創出	③市民協働の更なる推進
①防災・減災対策の充実・強化	②安心・安全な環境の整備	
①快適な生活環境の創出	②利便性の高い交通環境の充実	③憩いや安らぎの場の創出
①積極的な財源の確保	②庁内組織体制の最適化と人材育成	③公共施設の適正配置の推進

2 第2期総合戦略の効果検証について

2 第2期総合戦略の効果検証について

(1) 目的

ア 第2期総合戦略の進行管理

第2期総合戦略の数値目標を達成するためには、実施した施策・事業の検証と改善を図る必要があります（計画策定（Plan）、推進（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルの確立）。

そこで、評価に当たっては、施策ごとにKPIを設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善を行います。

イ 市民に対する説明責任

第2期総合戦略の進捗状況や今後の方向性を公表し、市民の皆様と共有を図ることにより、市民と行政が一体となり、第2期総合戦略の取組を推進します。

(2) 対象年度

令和5（2023）年度

(3) 効果検証の方法

ア 次の事項について、目標値に対する実績値を比較し、数値による進捗状況を明確にします。なお、KPIに位置付ける市民実感度については、各年度に実施した調査結果（当該年度の施策に対する実感度）を実績値としています。

（ア）四つの基本目標に位置付ける八つの数値目標

（イ）各基本目標に位置付けるKPI

イ 評価の目安は、目標値に対する達成率に応じて次の区分のとおりとします。

達成率	評価
100%以上	順調
80%以上100%未満	おおむね順調
60%以上80%未満	やや遅れ
60%未満	遅れ

ウ 効果検証は、客観性を担保するため、附属機関である、市民や産業界、行政機関、大学、金融機関、及びメディア等の関係者で構成する「厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」から意見をいただきながら行います。

(4) 効果検証結果の活用

効果検証結果については、第2期総合戦略の着実な推進を行うために活用するとともに、「効果検証報告書」としてまとめ、公表します。

3 第2期総合戦略効果検証結果（総論）

3 第2期総合戦略効果検証結果（総論）

【総合評価】

令和5年度を対象とした令和6年度の効果検証については、人口の将来展望の実現に向けた四つの基本目標に位置付ける8項目の数値目標の達成率において、未公表等により実績値を測ることができない3項目を除くと、前年度と同様に4項目が100.0%、1項目が80.0%を超える結果となった。また、全KPIの達成率平均についても92.3%となり、「おおむね順調」に進捗していると評価できるが、基本目標ごとにはそれぞれ課題があり、更なる取組の工夫が求められる。

基本目標1については、数値目標の達成率が100.0%である一方で、KPIの達成率平均は83.8%に留まっている。関係人口の創出に関する施策に未達成のKPIが多く見られるため、厚木市の認知度向上に向けて、魅力の創出や発信、都市間連携等に積極的に取り組む必要がある。

基本目標2については、数値目標の達成率及びKPIの達成率平均が高い水準で進捗している。しかし、全ての施策において、前年度と比較して達成率や実績値が低下したKPIがあるため、更なる雇用の創出に向けて、様々な業種のニーズに即した施策の展開が求められる。

基本目標3については、九つのKPIのうち、八つのKPIで達成率が90.0%以上となっており、高い水準で進捗しているが、数値目標「出生数」の達成率が82.8%となり、前年度より低下した。結婚・出産・子育てに関する希望の実現に向けて、効果的な施策展開が図れるよう、先進事例を調査・研究する等、新たな取組を検討する必要がある。

基本目標4については、数値目標及びKPIがおおむね順調に進捗しているが、数値目標においては、2項目とも前年度より転出者数が増加している。KPIについては、前年度と比較して達成率平均が低下している。安心・安全の向上を図る施策に未達成のKPIが多く見られるため、犯罪の抑制や災害対策に関連する取組をより一層進める必要がある。

なお、現在第11次総合計画の策定が進められていることから、第2期総合戦略についても、必要な見直しを行い、より効果的な施策の推進を図っていく必要がある。

【厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議からの意見】

令和５年度の施策・事業については、四つの基本目標に対する８項目の数値目標及び施策ごとに設定したKPIの達成状況から、全体としては「おおむね順調」に進捗していると評価する。実績値を取得できた５項目のうち４項目の数値目標において、達成率100.0%という結果に繋がったことは、目標達成に向けた取組の成果であると言える。

KPIについては、全項目の達成率平均が90.0%を超えており、引き続き、高い達成率を保持しながら、更なる施策の推進に努められたい。

一方、数値目標とKPIの達成率平均の数値が乖離している基本目標があるため、達成率の低い数値目標やKPIについては、様々な角度から要因分析を行い、最終年度である令和８年度の目標達成に向けて施策を展開されたい。特に、基本目標３では、「出生数」という、人口減少を和らげるために不可欠な数値目標を定めているが、年々実績値が低下しているため、施策の成果が効果的に反映されるよう、取組について検討されたい。

また、数値目標やKPIにおいて、達成率が100.0%ではあるが、前年度と比べると実績値が低下している項目が複数あることから、実績値を上昇させるために効果検証の結果をいかし、改善に結びつけられたい。

なお、本市総合戦略については、令和６年３月に改定を行い、新たな総合戦略に基づき施策を推進しているところであるが、これまで進めてきた地方創生の取組を継承・発展させるため、デジタル技術を効果的に活用するなど、本市の実情に応じた取組を一層推進されたい。

4 基本目標ごとの評価

基本目標 1（転入促進）

基本目標 1	地域の魅力発信・人材交流と都市機能の向上により、活気に満ちたまちをつくる
施策の方向性	あつぎの魅力を全国へ発信し、機能的でにぎわいのあるまちづくりを推進するとともに、20・30歳代を中心とした若い世代の転入・定住促進に関する支援の充実を図ります。

【数値目標の進捗状況】

数値目標	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
20・30歳代の転入者数	6,439人 (令和元年)	目標値	6,455	6,463	6,471	6,479	6,487	6,500
		実績値	6,149	6,765	6,803			
		達成率	95.3%	100.0%	100.0%			

【基本目標 1 の進捗状況及び評価】

重要業績評価指標 (KPI) の達成率平均	83.8%	評価	おおむね順調
・数値目標「20・30歳代の転入者数」の達成率が100.0%、KPIの達成率平均は83.8%となり、おおむね順調に進捗しているが、KPIの達成率平均においては、前年度と比較して1.6ポイント低下した。更なる転入促進に向け、関連する事業を着実に推進する必要がある。 ・転入促進に関する取組については、住宅取得等支援事業の実績値が高く、数値目標の達成に寄与しているが、専門職の転入奨励助成事業の達成率が低下しているため、各業種の関連団体を介した周知等、施策の展開に更なる工夫が求められる。 ・魅力の発信やまちのにぎわい創出に関する取組については、六つのKPIのうち五つのKPIが未達成となっているため、より効果的なプロモーションを行えるよう、他市や関連団体との連携を積極的に行う必要がある。			

【まち・ひと・しごと創生総合戦略会議からの意見】

・数値目標「20・30歳代の転入者数」について、達成率が100.0%であることは評価するが、KPIの達成率平均は83.8%に留まっているため、各施策の達成に向けて取組の強化を図られたい。 ・数値目標について、最終年度である令和8年度の目標値を現時点で達成する実績となっているが、今後も転入者数の増加を継続できるよう、各施策を着実に推進されたい。 ・魅力発信の成果が測れるよう、厚木市に魅力を感じて転入してきた人の割合を把握する等、今後の取組にいかせる調査等を検討されたい。 ・KPI「中心市街地商店街空店舗対策事業補助金交付申請店舗数」については、中心市街地を活性化させ、まちのにぎわいを創出する取組であるため、事業が継続できる取組を検討されたい。
--

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	1 関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する							
主な取組	① 都市間交流の促進							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
国内友好都市との交流活動件数	22件 (令和元年度)	目標値	25	26	27	28	29	30
		実績値	7	19	20			
		達成率	28.0%	73.1%	74.1%			
海外友好都市等との交流活動件数	15件 (令和元年度)	目標値	22	24	25	27	28	30
		実績値	2	13	16			
		達成率	9.1%	54.2%	64.0%			

具体的な施策	1 関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する							
主な取組	② 観光地の魅力創出							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
年間観光客数	2,942,000人 (令和元年度)	目標値	3,035,000	3,128,000	3,221,000	3,314,000	3,407,000	3,500,000
		実績値	1,081,007	2,487,409	2,096,170			
		達成率	35.6%	79.5%	65.1%			
温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合	42.6% (令和2年度)	目標値	43.0	44.0	45.5	47.0	48.5	50.0
		実績値	43.6	42.2	46.1			
		達成率	100.0% (101.4%)	95.9%	100.0% (101.3%)			

具体的な施策	1 関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する							
主な取組	③ あつぎの魅力の発信力強化							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	87.8% (令和元年度)	目標値	90.0	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	88.4	98.4	72.1			
		達成率	98.2%	100.0% (109.3%)	80.1%			
本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合	42.2% (令和2年度)	目標値	43.5	44.8	46.1	47.4	48.7	50.0
		実績値	44.8	38.5	39.5			
		達成率	100.0% (103.0%)	85.9%	85.7%			

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	2 機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める							
主な取組	① 都市機能の向上							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
中心市街地の歩行者数	109,836人 (令和元年度)	目標値	110,000	110,500	111,000	111,500	112,000	112,500
		実績値	98,282	94,327	100,327			
		達成率	89.3%	85.4%	90.4%			

具体的な施策	2 機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める							
主な取組	② 商業の活性化							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
中心市街地商店街空店舗対策事業補助金交付申請店舗数	8 件 (令和2年度)	目標値	8	8	8	8	8	8
		実績値	18	12	13			
		達成率	100.0% (225.0%)	100.0% (150.0%)	100.0% (162.5%)			
子育てパスポートAYUCOカード取得率	74.0% (令和2年度)	目標値	78.0	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0
		実績値	85.2					
		達成率	100.0% (109.2%)	100.0% (100.0%)				
子育てパスポートAYUCOカード取得者数	一人	目標値	—	10,000	11,000	12,000	13,000	14,000
		実績値	—	10,178	11,428			
		達成率	—	100.0% (101.8%)	100.0% (103.9%)			

指標変更

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3 20・30歳代を中心とした若い世代の転入を促進する							
主な取組	① 転入を促進する支援の充実							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
住宅取得等支援事業による転入者数（累計）	101人 （令和元年度）	目標値	220	440	660	980	1300	1,620
		実績値	275	563	903			
		達成率	100.0% (125.0%)	100.0% (128.0%)	100.0% (136.8%)			
保育士、幼稚園教諭、看護職、介護職等転入奨励助成事業による転入者数（累計）	75人 （令和元年度）	目標値	124	260	409	570	744	930
		実績値	83	171	257			
		達成率	66.9%	65.8%	62.8%			

基本目標 2（雇用創出）

基本目標 2	働く場を創出し、経済活動が盛んなまちをつくる
施策の方向性	新たな産業拠点の創出や企業の誘致を推進するとともに、中小企業等の更なる成長を促進するための施策を推進します。また、若い世代が安定して市内で働けるよう、市内企業への就職支援の充実を図ります。

【数値目標の進捗状況】

数値目標	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
事業所数	11,758事業所 (令和元年度)	目標値	11,971	12,079	12,187	12,297	12,408	12,520
		実績値	-	-	-			
		達成率	-	-	-			
従業者数	147,906人 (平成28年度)	目標値	158,586	160,648	162,649	164,649	166,649	168,650
		実績値	151,282	-	-			
		達成率	95.4%	-	-			
法人均等割納税 義務者数	7,310事業所 (令和元年度)	目標値	7,443	7,510	7,578	7,646	7,715	7,790
		実績値	7,557	7,709	7,766			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

【基本目標 2 の進捗状況及び評価】

重要業績評価指標 (KPI) の達成率平均	98.3%	評価	おおむね順調
--------------------------	-------	----	--------

・数値目標「事業所数」及び「従業者数」については、5年ごとの調査のため令和5年度の実績値はないが、数値目標「法人均等割納税義務者数」は達成率が100.0%、KPIは達成率平均が98.3%となっており、おおむね順調に進捗しているため、引き続き関連する施策の着実な展開が求められる。

・主な取組「中小企業の経営支援」や「市内企業への就職支援の充実」において、前年度より実績値が低下した事業があるため、引き続き、支援内容の周知を行うとともに、働く場の創出に向けた取組を行う必要がある。

【まち・ひと・しごと創生総合戦略会議からの意見】

・数値目標「法人均等割納税義務者数」の達成率が100.0%、KPIの達成率平均が98.3%であり、おおむね順調に進捗していることは評価する。 ・KPI「市の支援策により創業した人数」については、前年度に引き続き達成率が堅調であることは評価するが、昨今の起業者の年齢層や起業理由の変化を踏まえ、起業を検討している方に厚木市の支援内容を幅広く認知していただけるよう周知を工夫されたい。 ・更なる雇用の創出のため、補助金や講座等を効果的に活用し、企業誘致や創業支援の推進を図られたい。
--

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	1 雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する							
主な取組	① 新たな産業拠点の創出							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
森の里東及び酒井土地区画整理事業用地における立地企業数（累計）	3 社 （令和2年度）	目標値	5	5	10	13	16	20
		実績値	5	7	9			
		達成率	100.0%	100.0% (140.0%)	90.0%			

具体的な施策	1 雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する							
主な取組	② 企業誘致の推進							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
企業誘致・立地による雇用者創出数	5 人 （令和2年度）	目標値	10	15	20	20	20	20
		実績値	6	7	27			
		達成率	60.0%	46.7%	100.0% (135.0%)			
企業立地制度適用件数（累計）	3 件 （令和2年度）	目標値	5	10	11	13	15	17
		実績値	2	9	13			
		達成率	40.0%	90.0%	100.0% (118.2%)			

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	2 地域経済を活性化させる企業活動を支援する							
主な取組	① 中小企業の経営支援							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
市の支援策により創業した人数	0 人 (令和2年度)	目標値	2	3	4	4	4	4
		実績値	0	4	6			
		達成率	0.0%	100.0% (133.3%)	100.0% (150.0%)			
中小企業相談件数	1,500件 (令和2年度)	目標値	1,600	1,700	1,800	3,550	3,600	3,650
		実績値	3,350	3,437	2,588			
		達成率	100.0% (209.4%)	100.0% (202.2%)	100.0% (143.8%)			

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3 若い世代の市内企業への就職を支援する							
主な取組	① 市内企業への就職支援の充実							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
奨学金返済助成件数	50件 (令和元年度)	目標値	155	165	175	265	275	285
		実績値	131	181	178			
		達成率	84.5%	100.0% (109.7%)	100.0% (101.7%)			

基本目標 3（合計特殊出生率上昇）

基本目標 3	結婚・出産・子育ての希望をかなえることができるまちをつくる
施策の方向性	出会いや交流の場を創出するとともに、妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のないサービスの提供や、魅力ある教育環境の充実に図ります。

【数値目標の進捗状況】

数値目標	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
合計特殊出生率	1. 25 (平成30年)	目標値	1. 31	1. 33	1. 36	1. 39	1. 42	1. 44
		実績値	1. 16	未公表	未公表			
		達成率	88. 5%	-	-			
出生数	1, 453人 (令和元年)	目標値	1, 499	1, 522	1, 556	1, 590	1, 625	1, 650
		実績値	1, 353	1, 308	1, 288			
		達成率	90. 3%	85. 9%	82. 8%			

【基本目標 3 の進捗状況及び評価】

重要業績評価指標 (KPI) の達成率平均	97. 4%	評価	おおむね順調
--------------------------	--------	----	--------

・数値目標「合計特殊出生率」については、令和7年度に公表予定であるため、令和5年度の実績値はないが、「出生数」の達成率が82. 8%、KPIの達成率平均は97. 4%となっており、数値目標とKPIの達成率に乖離が見られる。各KPIにおける取組の成果が数値目標に反映されるよう、様々な角度から要因の分析を行ったうえで、施策を推進する必要がある。

・妊娠や出産、子育て支援に関する取組については、九つのKPIのうち五つのKPIにおいて、前年度と比較して達成率や実績値が低下した。基本目標の達成に向け、子育て世代にサービスがしっかりと行き渡るよう、効果的な周知を行う必要がある。

【まち・ひと・しごと創生総合戦略会議からの意見】

・KPIの達成率平均が97. 4%であり、施策の進捗については評価するが、数値目標「出生数」の達成率が82. 8%となっているため、目標値を達成していないKPIや実績値の低い取組の検証を行われたい。 ・子育て支援について、子育て世代は取組の充実を実感しているが、子育て世代以外の市民や市外に十分伝わっていないと思われるため、幅広い世代の市民や市外に向けた情報発信に取組まれたい。

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	1 結婚への第一歩となる出会いと交流の場を創出する							
主な取組	① 出会いの場や交流の場の創出							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
出会いの場・交流の場事業参加者の満足度	88.7% (令和元年度)	目標値	90.0	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	76.0	86.2			
		達成率	100.0% (111.1%)	84.4%	95.8%			

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	2 妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する							
主な取組	① 妊娠・出産への支援の充実							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
妊娠届出率（妊娠11週以下）	80.9% （令和元年度）	目標値	85.0	85.0	85.5	91.0	92.0	93.5
		実績値	87.6	84.9	84.0			
		達成率	100.0% (103.1%)	99.9%	98.2%			
子育てサービスが充実していると思う市民の割合	66.0% （令和2年度）	目標値	66.2	66.4	66.6	66.8	67.0	67.2
		実績値	68.2	64.0	67.5			
		達成率	100.0% (103.0%)	96.4%	100.0% (101.4%)			

具体的な施策	2 妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する							
主な取組	② 子育て世帯への支援の充実							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
子育て日常生活支援事業の支給件数	15,500件 （令和2年度）	目標値	18,600	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
		実績値	19,635	18,886	18,405			
		達成率	100.0% (105.6%)	100.0% (104.9%)	100.0% (102.3%)			
子育てリフレッシュ講座参加者の満足度	91.8% （令和2年度）	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	95.0	95.0
		実績値	100.0	100.0	99.2			
		達成率	100.0% (108.7%)	100.0% (107.5%)	100.0% (105.5%)			

具体的な施策	2 妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する							
主な取組	③ 子育て環境の充実							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
保育施設等入所率	99.9% （令和元年度）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0	100.0	100.0			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
ファミリー・サポート・センター援助活動件数	2,100件 （令和2年度）	目標値	2,400	3,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績値	3,609	3,270	3,332			
		達成率	100.0% (150.4%)	100.0% (109.0%)	83.3%			

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3 子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する							
主な取組	① 魅力ある教育環境の充実							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する厚木市の達成率	95.8% (令和元年度)	目標値	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	101.0
		実績値	95.5	97.1	97.1			
		達成率	99.5%	100.0% (100.1%)	99.1%			
全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	86.3% (令和元年度)	目標値	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90.0
		実績値	88.6	88.2	90.0			
		達成率	100.0% (101.3%)	100.0% (100.2%)	100.0% (101.7%)			

基本目標 4（転出抑制）

基本目標 4	誰もが安心して自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる
施策の方向性	誰もが活躍できる場の創出、安心・安全を確保する基盤の整備、利便性の高い交通環境による魅力的な生活圏の形成を推進します。また、着実に計画を推進するために庁内体制の強化・充実を図ります。

【数値目標の進捗状況】

数値目標	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
転出者数	10,580人 (令和元年)	目標値	10,558	10,547	10,536	10,525	10,514	10,500
		実績値	9,582	9,473	9,822			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
20・30歳代の転出者数	6,680人 (令和元年)	目標値	6,664	6,656	6,648	6,640	6,632	6,620
		実績値	5,958	5,995	6,248			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

【基本目標 4 の進捗状況及び評価】

重要業績評価指標 (KPI) の達成率平均	89.8%	評価	おおむね順調
・数値目標「転出者数」及び「20・30歳代の転出者数」については、達成率が100.0%となっているが、いずれも前年度と比べると転出者数が増加しているため、健康や防災、生活利便性等、様々な分野において、更なる転出抑制に向けた施策に取り組む必要がある。 ・KPIについては、達成率平均が89.8%となり、前年度と比べると1.4ポイント低下した。特にKPI「刑法犯認知件数」については、前年度と比べ実績値が増加し、達成率も57.8%と遅れが生じているため、安心・安全な環境の整備に向け、パトロールの強化や監視カメラの増設等、防犯に関する取組をより一層推進する必要がある。			

【まち・ひと・しごと創生総合戦略会議からの意見】

・数値目標「転出者数」及び「20・30歳代の転出者数」について、達成率が100.0%であることは評価するが、いずれも前年度と比べて転出者数が増加したため、転出理由の多面的な分析を行い、更なる転出抑制に取り組まれない。 ・刑法犯認知件数が前年度と比べて増加しており、厚木市が住みやすいまちであるために、事業内容を工夫されたい。 ・行政改革の推進について、取組実績と市民の実感が乖離していると思われるため、取組の成果を市民に分かりやすく伝えていく必要がある。
--

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	1 誰もが生き生きと活躍できる場を創出する							
主な取組	① 市民の健康保持増進							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
特定健康診査の受診率	36.3% (令和元年度)	目標値	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0
		実績値	32.7	30.6	32.5			
		達成率	86.1%	78.5%	81.3%			
健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合	90.0% (令和元年度)	目標値	91.0	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5
		実績値	92.8	91.5	92.9			
		達成率	100.0% (102.0%)	100.0%	100.0% (101.0%)			

具体的な施策	1 誰もが生き生きと活躍できる場を創出する							
主な取組	② 学ぶ場と活躍の場の創出							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
公民館での学級・講座参加者の満足度	70.1% (令和元年度)	目標値	70.6	71.1	71.6	79.6	81.3	83.0
		実績値	74.7	69.7	73.9			
		達成率	100.0% (105.8%)	98.0%	100.0% (103.2%)			
文化芸術事業の参加者数	4,729人 (令和元年度)	目標値	4,950	5,000	5,050	5,100	5,150	5,200
		実績値	0	2,720	2,698			
		達成率	0.0%	54.4%	53.4%			

具体的な施策	1 誰もが生き生きと活躍できる場を創出する							
主な取組	③ 市民協働の更なる推進							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
市内で活動する市民活動団体数	211団体 (令和2年度)	目標値	214	217	220	223	226	229
		実績値	214	204	201			
		達成率	100.0%	94.0%	91.4%			
市民協働事業の実施事業数	352件 (令和元年度)	目標値	358	361	364	367	370	373
		実績値	345	432	493			
		達成率	96.4%	100.0% (119.7%)	100.0% (135.4%)			

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	2 市民生活における安心・安全の向上を図る							
主な取組	① 防災・減災対策の充実・強化							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
災害に備えていることがある市民の割合	86.3% (令和2年度)	目標値	86.9	87.5	88.2	96.0	98.0	100.0
		実績値	89.9	89.0	86.8			
		達成率	100.0% (103.5%)	100.0% (101.7%)	98.4%			
住宅の耐震化率	89.8% (令和元年度)	目標値	91.1	92.1	93.0	94.9	95.8	96.7
		実績値	92.7	92.9	93.1			
		達成率	100.0% (101.8%)	100.0% (100.9%)	100.0% (100.1%)			

具体的な施策	2 市民生活における安心・安全の向上を図る							
主な取組	② 安心・安全な環境の整備							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
刑法犯認知件数	1,259件 (令和元年度)	目標値	900	810	729	656	590	531
		実績値	1,131	1,102	1,262			
		達成率	79.6%	73.5%	57.8%			
セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	86.5% (令和元年度)	目標値	92.7	93.6	94.5	95.4	96.4	97.4
		実績値	94.1	92.0	93.6			
		達成率	100.0% (101.5%)	98.3%	99.0%			

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	3 魅力的な生活圏を形成する							
主な取組	① 快適な生活環境の創出							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	79.4% (令和元年度)	目標値	79.4	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6
		実績値	79.7	80.4	82.2			
		達成率	100.0% (100.4%)	99.8%	100.0% (102.0%)			

具体的な施策	3 魅力的な生活圏を形成する							
主な取組	② 利便性の高い交通環境の充実							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
コミュニティ交通導入検討地区数（累計）	1 地区 (令和元年度)	目標値	2	3	4	5	6	7
		実績値	2	3	6			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0% (150.0%)			
幹線道路（1・2級市道）等の整備延長（累計）	103m (令和元年度)	目標値	208	353	473	453	503	553
		実績値	134	219	264			
		達成率	64.4%	62.0%	55.8%			

具体的な施策	3 魅力的な生活圏を形成する							
主な取組	③ 憩いや安らぎの場の創出							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
市民一人当たりの公園及び緑地面積	8.15m ² /人 (令和元年度)	目標値	8.16	8.17	8.17	9.61	9.65	9.65
		実績値	8.19	8.19	8.19			
		達成率	100.0% (100.4%)	100.0% (100.2%)	100.0% (100.2%)			
親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合	43.7% (令和2年度)	目標値	44.4	45.1	45.8	46.5	47.2	48.0
		実績値	45.8	44.2	44.2			
		達成率	100.0% (103.2%)	98.0%	96.5%			

【重要業績指標（KPI）及び実績値】（達成率のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率。）

具体的な施策	4 自主・自立のまちづくりを推進する							
主な取組	① 積極的な財源の確保							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
第7次行政改革の推進度	— (令和2年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	87.3	83.6	78.2			
		達成率	87.3%	83.6%	78.2%			
市税収納率	98.81% (令和元年度)	目標値	98.85	98.90	98.95	99.00	99.05	99.10
		実績値	99.11	98.95	98.73			
		達成率	100.0% (100.3%)	100.0% (100.1%)	99.8%			

具体的な施策	4 自主・自立のまちづくりを推進する							
主な取組	② 庁内組織体制の最適化と人材育成							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
職務遂行能力が向上していると感じている職員の割合	85.1% (令和元年度)	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
		実績値	81.7	82.6	84.4			
		達成率	90.8%	91.8%	93.8%			

具体的な施策	4 自主・自立のまちづくりを推進する							
主な取組	③ 公共施設の適正配置の推進							
KPI	現状値		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
公共施設個別施設計画に基づく第1期短期再編プログラムの進捗率	— (令和2年度)	目標値	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8	100.0
		実績値	18.2	31.8	45.5			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%			

主な取組 令和5年度の実績

目 次

基本目標 1	1
具体的な施策 1 関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する	2
具体的な施策 2 機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める	8
具体的な施策 3 20・30歳代を中心とした若い世代の転入を促進する	10
基本目標 2	13
具体的な施策 1 雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する	14
具体的な施策 2 地域経済を活性化させる企業活動を支援する	16
具体的な施策 3 若い世代の市内企業への就職を支援する	18
基本目標 3	21
具体的な施策 1 結婚への第一歩となる出会いと交流の場を創出する	22
具体的な施策 2 妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する	23
具体的な施策 3 子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する	30
基本目標 4	33
具体的な施策 1 誰もが生き生きと活躍できる場を創出する	34
具体的な施策 2 市民生活における安心・安全の向上を図る	42
具体的な施策 3 魅力的な生活圏を形成する	48
具体的な施策 4 自主・自立のまちづくりを推進する	53

【基本目標 1】

地域の魅力発信・人材交流と都市機能
の向上により、活気に満ちたまちをつ
くる

～転入促進～

基本目標 1						
具体的な施策 1 関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する						
主な取組 ① 都市間交流の促進						
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
国内友好都市との訪問団の受入れ及び派遣を行うとともに、国内友好都市との交流事業を行う市民団体に補助金を交付し、民間交流の活性化を図ります。	国内交流推進事業	① 糸満市から語り部を受け入れ平和講話を実施した。 ・ 小学生90人、中学生98人 ② 糸満市へ中学生平和学習訪問団を派遣した。 ・ 公募中学生6人、職員2人 ③ あつぎ鮎まつりに代表訪問団を受け入れた。 ・ 横手市2人、網走市2人 ④ 糸満市へバドミントン交流訪問団を派遣した。 ・ 選手12人、コーチ・保護者5人、職員2人 ⑤ 網走市へバスケットボール交流訪問団を派遣した。 ・ 選手31人、保護者8人、職員2人 ⑥ 横手市へ雪まつり市民訪問団を派遣した。 ・ 市民10人、職員2人	国内友好都市との交流活動件数	件	19	20
海外友好都市等との訪問団の受入れ及び派遣を行うとともに、海外友好都市等との国際交流事業を行う市民団体及び市内大学に補助金を交付し、民間交流の活性化を図るほか、海外学生等のホームステイを受け入れます。	国際交流推進事業	① 軍浦市で開催されたツツジ祭りへ代表訪問団を派遣した。 ・ 市長、議長、職員2人 ② 市内保育園にてNZ理解講座を開催した。 ・ 保育園児等 20人 ③ NZU-18ゴルフチームを受け入れ、市内高校生との交流を実施した。 ・ 市内高校生 9人 ④ あつぎ鮎まつりにおいて訪問団を受け入れた。 ・ 軍浦市 9人 ⑤ ニューブリテン市との友好都市締結40周年を記念し、代表訪問団を派遣した。 ・ 副市長、厚木市友好交流委員会副委員長、職員等3人 ⑥ 軍浦市から剣道交流訪問団を受け入れた。 ・ 軍浦市剣道協会関係者等 40人 ⑦ 軍浦市へ福祉事業視察訪問団を派遣した。 ・ 市内地域包括支援センター職員3人、職員2人 ⑧ ニューブリテン市から友好都市締結40周年を記念した代表訪問団を受け入れた。 ・ ニューブリテン市職員等 2人 ⑨ ニュージーランド体験留学、スポーツ留学を実施した。 ・ 高校生参加者11人、ゴルフ協会ほか3人	海外友好都市等との交流活動件数	件	13	16

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ①	都市間交流の促進					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
自治体相互が連携し、より一層の市民サービスの向上につながる取組を行うとともに、近隣市町村と共通する行政課題等の解決に向けた調査・研究を行います。	広域都市連携推進事業	① 県央相模川サミット 東名高速道路を活用した6市町村のPRを実施した。 ② 広域行政連絡会 県央やまなみ地域における広域連携強化に関する協定を締結した。	都市間連携の実施件数	件	50	51
近隣の自治体や観光協会、関係団体等と協働し、広域連携による観光プロモーションを行うことで、回遊性や情報発信力を高め、観光地としての魅力を向上させ誘客の促進を図ります。	広域連携観光推進事業	① 丹沢大山宣伝協議会負担金を支出し、協議会の運営をした。 ② 平成大山講プロジェクト推進協議会へアプリ運営費を支出した。 ③ 広域周遊観光バスツアーを3コース作成し、販売した。 ④ 厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村への注目と誘客促進を図るため、食をテーマに5市町村の特産品セットを開発・販売した。	大山エリア (厚木市・伊勢原市・秦野市)の観光消費額(年間)	千円	21,792,730	26,583,789
			宮ヶ瀬エリア (厚木市・愛川町・清川村)の観光消費額(年間)	千円	15,311,490	20,090,174

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ②	観光地の魅力創出					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
産業と観光の振興を図るとともに、市民のふれあいを深めるため、「あつぎ鮎まつり」や「あつぎ飯山桜まつり」など、魅力ある観光イベントを開催します。	観光行事推進事業	① 4年ぶりのあつぎ鮎まつりを2日間にわたって開催した。 ・ 来場者数 280,000人 ② あつぎ飯山桜まつりを9日間にわたって開催した。初日・2日目に実施予定であったイベントは雨天のため中止したが、期間中はライトアップを行った。 ③ 地域観光まつり事業は、実施主体の高齢化や雨天により、実施がなかった。	観光消費額（年間）	千円	14,454,002	18,869,378
豊かな自然や温泉等の既存の観光資源を活用するとともに、地域団体や事業者との協働により、新たな観光資源を創出し、地域の活性化を図ります。	観光資源活性化事業	① 地域と共同で地域資源を活用した花の里づくりを推進するため、花の育成に必要な消耗品を購入した。 ② 地域の観光資源活性化を図るために、活動する団体に対し、費用の一部を補助した。 ・ 交付団体 2件 ③ 観光地としての魅力づくりや集客アップを目的に鮎やホルモンを活用したイベントを実施した。	飯山・七沢地区の延べ観光客数（年間）	人	1,239,525	821,184
市内の観光施設や飲食店などの受入環境を整備することで、訪れた観光客の満足度向上を図り、リピーターを含む観光客の拡大に繋がります。	受入環境整備事業	外国人観光客の方が快適に過ごせるよう、外国語表記のパンフレットやメニューなどを作成する事業者に対し、補助金を交付した。 ・ 受入環境整備事業補助金 申請件数 1件	市内の延べ観光客数（年間）	人	2,487,409	2,096,170
飯山地区及び七沢地区において、自然と温泉等の観光資源をいかした「森林セラピー事業」や「健康づくり大学」を実施し、観光客の増加を図ります。	健康づくり村推進事業	本市の自然、文化、歴史等の観光資源を活用し、市民等の健康増進を目的とした事業を実施する厚木市観光協会に対し補助金を交付した。 ・ 実施回数 森林セラピー 3回 健康づくり大学 3回	健康づくり大学参加者のうち、満足した人の割合	%	90.0	100.0
			森林セラピーツアー参加者のうち、満足した人の割合	%	90.0	100.0

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ②	観光地の魅力創出					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
飯山白山森林公園桜の広場を中心とするエリアについて、観光拠点としての機能強化に向けた整備を進めます。	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	① 桜の広場周辺の階段を修繕した。 ② 白山ハイキングコースの木道を修繕した。 ③ トレイルランニング等の案内看板を設置した。	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備の進捗状況	—	現況測量を実施	—
			庫裡橋から飯山白山森林公園桜の広場までの整備の進捗状況	—	検討会を開催	工事
			白山ハイキングコース及び白山展望台周辺整備の進捗状況	—	検討会を開催	工事
近隣の自治体や観光協会、関係団体等と協働し、広域連携による観光プロモーションを行うことで、回遊性や情報発信力を高め、観光地としての魅力を向上させ誘客の促進を図ります。	広域連携観光推進事業	① 丹沢大山宣伝協議会負担金を支出し、協議会の運営をした。 ② 平成大山講プロジェクト推進協議会へアプリ運営費を支出した。 ③ 広域周遊観光バスツアーを3コース作成し、販売した。 ④ 厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村への注目と誘客促進を図るため、食をテーマに5市町村の特産品セットを開発・販売した。	大山エリア（厚木市・伊勢原市・秦野市）の観光消費額（年間）	千円	21,792,730	26,583,789
			宮ヶ瀬エリア（厚木市・愛川町・清川村）の観光消費額（年間）	千円	15,311,490	20,090,174

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ③	あつぎの魅力の発信力強化					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
本厚木駅及び愛甲石田駅周辺等にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、イベントや観光情報、市からのお知らせなどの情報を発信します。	デジタルサイネージ設置事業	中町第2-2地区などへの設置に向けた検討を進めた。	デジタルサイネージの中町第2-2地区等への整備の進捗状況	—	調査・研究	調査・研究
市の広報番組をケーブルテレビで放送するとともに、イベントや市政情報等をテレビ・ラジオの情報番組を通じて、市内外に広く発信します。	映像メディア活用事業	① ケーブルテレビで市の広報番組を作成、放映した。 ② tvk情報番組「猫のひたいほどワイド」及びFMヨコハマ「ラブリーデイ」の自治体情報コーナーでPRを行った。	映像メディアによる広報が効果的と感じた人の割合	%	67.6	70.1
若い世代で構成する組織において、住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりに向けた事業を実施し、あつぎの魅力を全国に発信します。	あつぎの魅力創造・交流事業	① 東京スカイツリータウンで実施されたイベントへの出展やあつぎeスポーツ交流会の開催を通して、本市の魅力を創造するとともに発信した。 ② 出会いの場・交流の場として婚活ツアーを2回開催した。 ・参加人数 1回目30人、2回目28人	あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じる事ができた」と思う事業参加者の割合	%	98.4	72.1
			事業（出会いの場・交流の場）参加者の満足度	%	76.0	86.2
「浜の活力再生プラン」に基づき、アユの保護やアユを活用した六次産業化等の取組を、相模川の流域市町村及び内水面漁業関係者と連携し支援します。	浜の活力再生プラン推進事業	内水面漁業関係者と協力して、相模川のアユの生態系調査等を実施するなど、漁業の生産性向上に努めた。	天然アユ遡上数	尾	8,027,000	9,245,814

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ③	あつぎの魅力の発信力強化					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
魅力ある観光資源を市内外に広くPRするため、パンフレットの作成や各種メディア、SNSを活用した情報発信を展開し、観光客の誘致拡大を図ります。	観光プロモーション事業	① ハイカー向け観光マップをリニューアルした。 ・ 作成部数 12,000部 ② 観光プロモーションのツールとしてマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」を活用した啓発物品を作成した。 ③ 本市の魅力となる優れた食を「あつぎ食ブランド」として認定した。 ・ 新規認定件数 3件 ④ 本市の魅力となる観光地をPRするため、横断幕を掲げた。 ⑤ 観光スポットPRのため、道標マップを作成した。 ⑥ 「あつぎ温泉郷」をPRするため、足湯体験及び温泉旅館割引キャンペーンを実施した。 ⑦ 白山ハイキングコース入口及び頂上にプロスポーツ選手の道標を設置した。	厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	回	101,795	93,000
「厚木市景観計画」に基づき、建築物の景観誘導を推進するとともに、市内における景観の魅力発信を行います。	景観形成推進事業	市内の魅力ある景観の共有を図るため、厚木市民情報提供システム「スマ報」の投稿をホームページで周知した。その結果、厚木の魅力（まちの景観）についての投稿が数多く寄せられた。	厚木市民情報提供システム「スマ報」による厚木の魅力（まちの景観）投稿件数	件	127	136

具体的な施策 2	機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める					
主な取組 ①	都市機能の向上					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
本厚木駅やアミューあつぎ、バスセンターなど、市街地の主要施設を結ぶ導線となる地下道の活性化を図ります。	地下道活性化事業	① 地下道の恒常的なにぎわい創出に向け、市民提案事業を募集し支援した。 ・ 12団体、延べ49回 ② 地下道の周知及びにぎわいや回遊性の向上に向け、CHiKaフェス2023を開催した。 ・ 歩行者通行量 18,882人（2日間） ③ 地下道のイメージアップに向け、柱巻き装飾を6本実施した。	事業実施時の地下道の通行量	人/日	9,942	9,441
駅周辺や公共施設などで容易にインターネットに接続できる衆無線LAN（Wi-Fi）を整備します。	公衆無線LAN整備事業	市内5か所に無線LAN（Wi-Fi）を追加整備。令和5年11月より追加エリアのサービスを順次開始した。 【整備エリア】 厚木中央公園、厚木公園、本厚木駅前東口地下道、ふれあいプラザ、東町スポーツセンター	無線LAN（Wi-Fi）整備箇所数 ※カッコ内は総数	か所	検討	5 (33)
家（第1の場所）と職場や学校（第2の場所）との間にある第3の場所「サードプレイス」の創出をコンセプトに掲げている中町第2-2地区周辺において、あらゆる世代の皆様にとって居場所となる複合施設の整備及び厚木バスセンターの再整備を進めます。	中町第2-2地区周辺整備事業	実施設計に着手するとともに複合施設本体建設工事の着工前に必要となる既存構築物の解体工事等を実施した。	複合施設整備の進捗状況	—	実施設計	実施設計建設工事
			厚木バスセンター再整備の進捗状況	—	—	関係者協議
本厚木駅北口広場に面する街区と駅北口広場の一体的な再整備に向けた取組を行います。	本厚木駅北口周辺整備事業	本厚木駅北口周辺地区を市民の誇りとなる玄関口への生まれ変わりを目指し、当地区における再整備に向け、再開発準備組合の運営支援をするとともに、複数回の会議及び先進事例視察を開催し、整備コンセプトを仮決定した。	本厚木駅北口周辺整備に向けた進捗状況	—	整備方針案作成	整備コンセプトの仮決定
愛甲石田駅北口広場及び周辺地区の計画的な整備を行い、商業・業務等の都市機能の集積と交通結節点としての機能を強化し、都市拠点を形成します。	愛甲石田駅周辺整備事業	今後のまちづくりを検討する上での基礎資料となる駅周辺現況調査を行うとともに、駅周辺の権利者に対して土地利用等の意向調査を行った。	愛甲石田駅周辺整備の進捗状況	—	基本構想策定	現況調査 権利者アンケート調査

具体的な施策 2	機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める					
主な取組 ②	商業の活性化					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
地域の総合経済団体である厚木商工会議所が実施する優良小売店舗表彰や合同入社式、社員研修会、経営相談などの事業に対し、補助金を交付します。	商工業振興事業	① 厚木商工会議所が行う商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に係る費用に対し、補助金を交付した。	合同入社式・研修会参加者数	人	50	50
		② 合同入社式・研修会については、新型コロナウイルス感染症が5類移行前であったため、人数を絞って実施した。	中小企業相談件数	件	3,437	2,588
中心市街地100ha内の空き店舗に出店する事業者に対する家賃等の補助や、「あつぎ国際大道芸」などの魅力あるイベントを開催するほか、商業者等が実施する各種事業を支援し、まちのにぎわい創出と活性化を図ります。	市街地商業活性化事業	① 中心市街地において、空き店舗を活用し、開業する事業者に対し、改装費と家賃の一部、出店費用を補助した。 ・ 認定件数 13件	厚木市中心市街地商店街空き店舗対策事業補助金交付申請店舗数	店	12	13
		② にぎわい爆発あつぎ国際大道芸を開催した。 ・ 参加者数 約38,000人	中心市街地の歩行者数	人	94,327	100,327
		③ あつぎジャズナイトを開催した。 ・ 参加者数 約11,000人 ④ 本厚木駅前北口広場及び南口駅前広場にイルミネーションを設置した。 ・ 電球数 37,506球 ⑤ 市内商業団体が中心市街地の商業活性化を推進する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	%	31.2	30.6
商店会が協力して行う販路拡大のための事業や厚木市商店会連合会が実施する商業振興事業等に対し、補助金を交付します。	商業活動振興事業	① 子育てパスポートAYUCO電子システムを改修し、利用者の利便性向上及びサポーター店舗の利用の促進を図った。	子育てパスポートAYUCOカード取得者数	人	10,178	11,428
		② 商店会が協力して行う販路拡大のための共同売出し、宣伝及び装飾等の事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ③ 商店会連合会が実施する商業振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ④ 商店会や個人商店を効果的にPRするために係る経費に対し、補助金を交付した。	商店街活性化事業数	事業	16	27

具体的な施策 3	20・30歳代を中心とした若い世代の転入を促進する					
主な取組 ①	転入を促進する支援の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
市内の事業所等に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して介護職の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、介護職等有資格者の転入及び復職等に対し、奨励助成金を交付します。	介護職人材確保支援事業	① 市内の事業所等に就労する介護職等有資格者に対し、助成金を交付した。 ・ 奨学金返済助成金 1件 ・ 転入奨励助成金 10件（介護8件、障がい2件） ・ 復職等奨励助成金 6件 ② 介護従事者の研修費用等を助成した。 ・ 研修支援事業助成金 104件（介護79件（うち初任者研修9件）、障がい25件（うち初任者研修3件）） ・ 人材確保及び育成支援補助金 100件（介護61件、障がい39件） ③ 事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ・ 採用者数 8人（介護6人、障がい2人）	介護職等に就職した人数	人	42	37
			キャリアアップ支援事業補助金支給事業所の件数	件	105	100
市内の医療機関に勤務する方に対し、奨学金を利用して看護職や歯科衛生士等の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	看護職等人材確保支援事業	市内の医療機関に就労する看護職有資格者等に対し、助成金を交付した。 ・ 奨学金返済助成金 5件 ・ 転入奨励助成金 71件 ・ 復職等奨励助成金 5件	奨学金返済助成金支給者数	人	41	5
			転入奨励助成金支給者数	人	86	71
			復職等奨励助成金支給者数	人	4	5
市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	幼稚園教諭確保助成事業	市内の私立幼稚園に就労する幼稚園教諭有資格者に対し、助成金を交付した。 ・ 奨学金返済助成金 4件 ・ 転入奨励助成金 3件 ・ 復職等奨励助成金 2件	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	6	4
			幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	2	3
			幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	0	2

具体的な施策 3	20・30歳代を中心とした若い世代の転入を促進する					
主な取組 ①	転入を促進する支援の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
市内の私立保育施設に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	保育士確保助成事業	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ① 奨学金返済助成金 7件 ② 転入奨励助成金 2件 ③ 復職等奨励助成金 3件	奨学金返済助成金支給者数	人	14	7
			転入奨励助成金支給者数	人	7	2
			復職等奨励助成金支給者数	人	2	3
市内に居住する親世帯と同居又は同居するために市外から転入する方に対し、住宅の取得又は増改築費用の一部を補助するとともに、市外から転入する子育て中の若年世帯又は市内に居住する子育て中の若年世帯が、市内に住宅を取得する費用の一部を補助します。	定住促進住宅取得等支援事業	① 親元近居・同居住宅取得等支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・ 申請件数 46件 ・ 転入者 144人 ② 若年世帯住宅取得支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・ 申請件数 263件 (933人) ・ 転入者 59件 (196人) ・ 転居者 201件 (725人) ・ 建替え 3件 (12人)	親元近居・同居住宅取得等支援事業等による転入者数	人	104	144
			若年世帯住宅取得支援事業による転入者数	人	184	196

【基本目標 2】

働く場を創出し、経済活動が盛んなまちをつくる

～雇用創出～

基本目標 2						
具体的な施策 1	雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する					
主な取組 ①	新たな産業拠点の創出					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
森の里東土地地区画整理事業の施行を促進するため、森の里東土地地区画整理組合に対する指導、助言及び支援に努めるとともに、施行地区周辺の都市基盤整備を実施します。	森の里東土地地区画整理推進事業	① 組合に対して、社会資本整備総合交付金の市負担金を県を経由して交付した。 ② 組合の事業進捗に合わせて施行地区外に関連する道路や排水路を整備した。	森の里東土地地区画整理事業の進捗状況（C工区）	—	工事	工事・完成
			産業用地創出面積 ※カッコ内は総面積	ha	— (15.2)	11.6 (26.8)
酒井土地地区画整理事業の施行を促進するため、酒井土地地区画整理組合に対する指導、助言及び支援に努めるとともに、施行地区周辺の都市基盤整備を実施します。	酒井土地地区画整理推進事業	① 組合に対して、事業費の一部を補助した。 ② 組合の事業進捗に合わせて施行地区外に関連する道水路を整備した。	酒井土地地区画整理事業の進捗状況	—	工事	工事
			産業用地創出面積	ha	—	14.2
産業系土地利用を図るため、土地地区画整理事業の事業化に向けた検討に対する指導、助言及び支援を行い、計画的かつ充実した都市基盤整備を推進します。	土地地区画整理推進事業	① 山際地区については、準備委員会が開催する会議等に参加し助言を行うとともに、資料提供等の支援を行った。 ② 山際北部地区については、準備委員会が開催する会議等の運営、意向調査の実施協力やたよりの発行等の支援を行った。	山際地区（約22ha）の土地地区画整理事業の進捗状況	—	支援業務	支援業務
			山際北部地区（約17ha）の土地地区画整理事業の進捗状況	—	支援業務	支援業務

具体的な施策 1	雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する					
主な取組 ②	企業誘致の推進					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」に基づく奨励措置の適用を受けた企業等に対し、一定の要件の下、奨励金を交付します。	企業立地元気づけサポート事業	① 奨励措置を適用した。 ・ 適用件数 4 件 ② 各種奨励金を交付した。 ・ 企業立地奨励金 11件 ・ 戦略産業奨励金 1 件 ③ 新たに本市への立地意向を有する企業の情報を収集し、企業訪問やPR用パンフレットを配布した。 ・ 企業訪問 27社 ・ 市内及び市外企業へパンフレット送付 500社	企業立地制度適用件数	件	9	13

具体的な施策 2	地域経済を活性化させる企業活動を支援する					
主な取組 ①	中小企業の経営支援					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
中小企業診断士が企業を巡回訪問し、課題解決に向けた相談を実施するほか、見本市等への出展による販路拡大を支援します。 また、後継者問題等を抱える市内中小企業が事業を継続するための事業承継に係る経費の一部を補助します。	中小企業活性化推進事業	① 市内中小企業の巡回訪問を実施した。 ・ 訪問件数 64件 ② 市内中小企業者等が販路拡大のため、見本市、フェア及び展示会などに出展した際の費用に対し、補助金を交付した。 ・ 交付件数 42件	企業巡回訪問件数	件	50	64
			見本市等出展事業補助金交付件数	件	37	42
			事業承継補助金交付件数	件	0	—
製造業を営む市内中小企業及び小規模企業が設備投資に要した費用の一部を補助するとともに、市内中小企業者等が特許等を取得する際に要した費用の一部を補助します。	中小企業イノベーション支援事業	① 製造業を営む市内中小企業者等が、生産の拡大及び生産の効率化を図るための設備に投資した経費に対し、補助金を交付した。 ・ 交付件数 12件 ② 市内中小企業者の新技術、新製品の保護及び研究開発を奨励するため、国内の産業財産権（特許、実用新案等）の取得に要する費用に対し、補助金を交付した。 ・ 交付件数 5件 ③ 製造業を営む市内中小企業が、環境負荷を軽減させる機器等を導入した費用に対し、補助金を交付した。 ・ 交付件数 8件	中小企業設備投資額	千円	105,954	283,166
			特許等出願支援補助金交付件数	件	7	5
			中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金交付件数	件	3	8
地域の総合経済団体である厚木商工会議所が実施する優良小売店舗表彰や合同入社式、社員研修会、経営相談などの諸事業に対し、補助金を交付します。	商工業振興事業	① 厚木商工会議所が行う商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に係る費用に対し、補助金を交付した。 ② 合同入社式・研修会については、コロナウイルス感染症が5類移行前であったため、人数を絞って実施した。	合同入社式・研修会参加者数	人	50	50
			中小企業相談件数	件	3,437	2,588
特定金融機関に一定の資金を無利子で預託し、中小企業等に低利な融資を行うことで、経営の安定化を図ります。	中小企業事業資金融資事業	① 特定金融機関に一定の資金を無利子で預託し、中小企業者に低利な融資を行った。 ・ 融資件数 297件 ② 厚木市中小企業融資制度（事業資金（運転・一時）、経営近代化資金（運転）を除く）、神奈川県中小企業制度融資の創業支援融資、日本政策金融公庫取扱いの小規模事業者経営改善資金（マル経資金）を利用した市内中小企業が、金融機関へ支払った利子に対し、利子補給金を交付した。 ・ 交付件数 915件 ③ 厚木市中小企業融資制度、神奈川県創業支援融資を利用した市内の中小企業者等が、神奈川県信用保証協会へ支払った保証料に対し、補助金を交付した。 ・ 交付件数 262件	中小企業融資件数	件	274	297
			中小企業資金融資利子補給金交付件数	件	811	915
			中小企業信用保証料補助件数	件	244	262

具体的な施策 2	地域経済を活性化させる企業活動を支援する					
主な取組 ①	中小企業の経営支援					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
新規開業のために必要な資金の融資を受けた市内創業者に対し、利子補給を行うとともに、開業手続きの実務や事業計画の作成について学ぶ「あつぎ起業スクール」を開催します。	ビジネスチャレンジャー支援事業	① 日本政策金融公庫から創業融資を受けた市内創業者に対し、利子補給金を交付した。 ・ 交付件数 11件 (令和4年度に新規受け付けを終了)	創業者支援利子補給金交付件数	件	7	11
		② あつぎ起業スクールを開催した。 ・ 開催日数 6日 ・ 修了者数 33人	あつぎ起業スクール修了者の起業家数	人	4	6
先進的な技術を有し、ロボットの製造・開発を行っている企業等の取組を紹介するとともに、企業等によるロボット研究、製品開発、製品の改良及び市場開発に係る経費の一部を補助します。	ロボット産業推進事業	① ロボット関連産業等促進事業補助金を交付した。 ・ 交付件数 3件	ロボット関連補助金交付件数	件	3	3
		② ロボットの動作の実演や講義を通じて、ロボットに親しむ機会を提供し、ロボットの動く仕組みや扱い方について、正しい知識を身に着けるため、ロボットリテラシー事業を実施した。 ・ 参加人数 628人 ③ 市におけるロボット関連事業への支援、企業及び大学の取組を他市町村や企業等に広く周知し、本市のロボット関連事業を含めた魅力をPRするため、あつぎ生まれのロボット発信事業を実施した。 ④ ロボットを始めとした先進技術に関する講演会に外部講師を招いて、市民を対象に実施した。 ⑤ 厚木市青少年発明コンクール入賞作品を具体化した試作品を製作・発表し、ものづくりの楽しさを実感していただき、理科や科学への興味・関心を向上させるため、A T S U M O発明実現プロジェクトを実施した。	ロボットリテラシー事業への参加者数	人	605	628

具体的な施策 3	若い世代の市内企業への就職を支援する					
主な取組 ①	市内企業への就職支援の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
市内の事業所等へ就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して介護職の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、介護職等有資格者の転入及び復職等に対し、奨励助成金を交付します。	介護職人材確保支援事業	① 市内の事業所等へ就労する介護職等有資格者に対し、助成金を交付した。 ・ 奨学金返済助成金 1 件 ・ 転入奨励助成金 10 件（介護 8 件、障がい 2 件） ・ 復職等奨励助成金 6 件 ② 介護従事者の研修費用等を助成した。 ・ 研修支援事業助成金 104 件（介護 79 件（うち初任者研修 9 件）、障がい 25 件（うち初任者研修 3 件）） ・ 人材確保及び育成支援補助金 100 件（介護 61 件、障がい 39 件） ③ 事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ・ 採用者数 8 人（介護 6 人、障がい 2 人）	介護職等へ就職した人数	人	42	37
			キャリアアップ支援事業補助金支給事業所の件数	件	105	100
市内の医療機関に勤務する方に対し、奨学金を利用して看護職や歯科衛生士等の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	看護職等人材確保支援事業	市内の医療機関に就労する看護職有資格者等に対し、助成金を交付した。 ① 奨学金返済助成金 5 件 ② 転入奨励助成金 71 件 ③ 復職等奨励助成金 5 件	奨学金返済助成金支給者数	人	41	5
			転入奨励助成金支給者数	人	86	71
			復職等奨励助成金支給者数	人	4	5
市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	幼稚園教諭確保助成事業	市内の私立幼稚園に就労する幼稚園教諭有資格者に対し、助成金を交付した。 ① 奨学金返済助成金 4 件 ② 転入奨励助成金 3 件 ③ 復職等奨励助成金 2 件	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	6	4
			幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	2	3
			幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	0	2

具体的な施策 3	若い世代の市内企業への就職を支援する					
主な取組 ①	市内企業への就職支援の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
市内の私立保育施設に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	保育士確保助成事業	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ① 奨学金返済助成金 7件 ② 転入奨励助成金 2件 ③ 復職等奨励助成金 3件	奨学金返済助成金支給者数	人	14	7
			転入奨励助成金支給者数	人	7	2
			復職等奨励助成金支給者数	人	2	3
国の農業次世代人材投資資金制度を活用し、青年新規就農者に資金を交付するとともに、就農後の営農定着を促進するための支度金を交付します。	新規就農者支援事業	国の農業次世代人材投資資金を19人、新規就農支度金を3人に支給した。前年度からの継続者16人、新規3人。 青年等就農計画認定者数は、累計で40人となった。	認定新規就農者数（累計）	人	38	40
市内の企業に勤務する方に対し、奨学金を利用して大学に通学していた方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、各種セミナーや講座を実施するとともに、就職支援や各種相談事業を実施します。	就労対策事業	① 障がい者又は高年齢者を1年以上常用雇用している中小企業者に対し、奨励金を交付した。 ・ 障がい者雇用交付件数 41件 ・ 高年齢者雇用交付件数 73件 ② 市内在住かつ在勤の奨学金返還者に対し、奨学金返還の一部を補助する助成金を交付した。	障害者雇用奨励交付金交付件数	件	39	41
			高年齢者継続雇用奨励補助金交付件数	件	64	73
			勤労者奨学金返済助成金交付件数	件	120	161
職人の技と伝統を伝え、若年者の職業選択の機会を拡大するため、市内外への広報活動を実施するほか、職業訓練校に対する支援として補助金を交付するとともに、技能職団体の活動を支援し、技能後継者の育成や優れた技能の継承等を図ります。	技能振興事業	① 職業訓練校に対し、補助金を交付した。 ・ 交付件数 1件 ② 職人の技と伝統を伝え若年者の職業選択の機会を拡大するため、技能教室を開催した。 ・ 参加者数 31人	技能教室参加者数	人	33	31

【基本目標 3】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる
ことができるまちをつくる

～合計特殊出生率上昇～

基本目標 3						
具体的な施策 1 結婚への第一歩となる出会いと交流の場を創出する						
主な取組 ① 出会いの場や交流の場の創出						
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
結婚への第一歩である新たな出会いの場や交流の場を創出するための事業を実施します。	あつぎの魅力創造・交流事業	① 東京スカイツリータウンで実施されたイベントへの出展やあつぎeスポーツ交流会の開催を通して、本市の魅力を創造するとともに発信した。 ② 出会いの場・交流の場として婚活ツアーを2回開催した。 ・ 参加人数 1回目30人、2回目28人	あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じる事ができた」と思う事業参加者の割合	%	98.4	72.1
			事業（出会いの場・交流の場）参加者の満足度	%	76.0	86.2

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ①	妊娠・出産への支援の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
母子保健法に基づく健康診査や保健指導等を実施するほか、全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、ニーズに対応した妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のない相談体制の充実を図ります。	母子保健衛生事業	① 母子健康手帳の交付を行った。 ・ 交付件数 1,280件 ・ 妊娠届出者1,213件のうち妊娠11週以下で届け出した件数 1,019件	妊娠届出率 (妊娠11週以下)	%	84.9	84.0
		② 各種健康診査を行った。 ・ 妊婦歯科健康診査 431人 ・ 妊婦健康診査 14,167人 ・ 産婦健康診査 1,818人 ・ 新生児聴覚検査 1,118人 ・ 4か月児健康診査 1,216人 ・ 8～9か月児健康診査 1,267人 ・ 1歳6か月児健康診査 1,246人 ・ 2歳6か月児歯科健康診査 967人 ・ 3歳6か月児健康診査 1,323人 ③ 訪問指導を実施した。 ・ 産婦・新生児訪問指導件数 1,957人 ・ 訪問指導者数 3,452人 ④ すくすく応援隊を実施した。 ・ 相談件数 635件	う蝕のない3歳児の割合	%	92.5	92.2
医療保険の対象とならず、高額な医療費を要する特定不妊治療（顕微授精・体外受精）に要する費用の一部を助成します。	不妊治療費助成事業	令和4年4月1日から保険適用になった特定不妊治療（体外受精又は顕微授精）について、保険適用前に治療を開始し、令和5年3月31日までに治療を終了した市内に在住する夫婦に対し、治療費の一部を助成した。 ・ 助成件数 3件	不妊治療費助成件数	件	160	3

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ②	子育て世帯への支援の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
発達上何らかの心配のある児童とその保護者への助言や相談、指導を行います。 また、巡回相談や研修会等を実施し、発達障がい理解促進を図ります。	療育支援事業	① 発達上何らかの心配のある児童に対し、指導を行った。 ② 保護者からの来室・電話相談を受けた。 ③ 地域の保育所、幼稚園、小学校及び事業所に向けて巡回相談や研修会等を実施した。 ④ 発達に心配のある子とその保護者に遊びを通じた経験の場や気軽に相談できる場を親子サロンとして提供した。	出張講座、各種研修延べ参加者数	人	1,486	3,082
			経過観察（個別・グループ）支援延べ提供者数	人	5,009	4,422
			親子サロン延べ利用者数	人	2,730	2,917
発達に心配や障害のある児童に対し、発達や成長に合わせた必要な支援等を行うほか、障害児相談支援の実施や市民向け講演会を実施します。	児童発達支援事業	① 児童発達支援センター「ひよこ園」において、児童発達支援事業として、1日グループ指導、半日グループ指導及び居宅支援を実施した。 ② 保育所等を訪問し、児童の集団生活適応のための支援を実施した。 ③ 障害児支援利用計画作成及びモニタリングの実施した。	児童発達支援事業延べ利用者数	人	7,570	7,856
			保育所等訪問支援事業利用件数	件	97	99
			相談支援事業利用件数	件	228	266
私立幼稚園に対し、教材費や特別支援教育費、預かり保育事業費等の教育・保育に係る経費の一部を補助するほか、私学助成幼稚園に通う満3歳児から5歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付します。	私立幼稚園就園奨励事業	① 教育環境の向上を図るため、市内私立幼稚園に対し、各種補助金を交付した。 ・ 交付件数 17件 ② 私学助成幼稚園に通う満3歳児から5歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付した。	在園児率	%	57.6	58.5
私設保育施設に入所する児童の保護者に対し、助成金を支給します。	保育内容充実事業	申請のあった私設保育施設に入所する児童の保護者に対し1人当たり年間3万円の助成を行った。 交付件数 72件	助成件数	人	94	72
子どもを養育している子育て世帯に対し、紙おむつやおしりふきシート等の日常生活用品を支給します。	子育て日常生活支援事業	児童を養育する世帯に対し、紙おむつ又はおしりふき等を支給した。 【支給延べ件数】 ・ 第1子 7,391件 ・ 第2子 5,763件 ・ 第3子以降 5,251件 ・ 合計 18,405件	紙おむつ等の支給件数	件	18,886	18,405

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ②	子育て世帯への支援の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
0歳から中学校卒業までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成します。	子ども医療費助成事業	0歳から高校生年齢までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 【助成延べ件数】 ・ 県補助分 251,523件 ・ 市単独分 165,009件 ・ 合計 416,532件	医療費助成件数	件	346,172	416,532
日々の育児で自分の時間が作れない未就学児を持つ保護者に対し、託児室等において一時的に子どもを預かり、料理教室などの講座で保護者同士が交流する場を設けるなど、リフレッシュできる機会を提供します。	子育てリフレッシュ事業	子育て中の忙しい保護者の方に、リフレッシュしてもらうための託児付きのリフレッシュ講座を全10回開催した。 ・ 参加人数 130人 ・ 託児人数 106人	子育てリフレッシュ講座開催回数	回	10	10
子育て支援センターにおいて、児童の健全な成長や家庭に対する総合的な支援を行うほか、「ファミリー・サポート・センター事業」、「ほっとタイムサポーター事業」、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」など、多様な子育て支援を実施します。	子育て支援事業	① 子育てサロン室の運営を行い、子育て情報の提供や相談及び育児支援、子育て親子の交流の場の提供等を実施した。 ・ 子育てサロン室利用人数 64,052人 ・ 子育て講座参加者数 1,368人 ・ 移動子育てサロン利用人数 3,617人 ・ 相談件数 940件	子育て支援センター利用者数	人	61,492	65,420
		② 育児の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ・ 援助件数 3,332件	ファミリー・サポート・センター援助活動件数	件	3,270	3,332
		③ 産前産後の家庭にサポーターを派遣するほっとタイムサポーター事業を実施した。 ・ 利用件数 63件 ④ 生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問した。 ・ 訪問率 100% ⑤ あつぎ市民交流プラザ託児室を実施した。 ・ 託児室わたくも利用件数 3,681件	託児室わたくも利用件数	件	2,611	3,693

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ②	子育て世帯への支援の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
商店との協働により、子育て世帯が市内店舗の協力で割引や特典などのサービスを受けることができる子育てパスポート事業を実施します。	商業活動振興事業	① 子育てパスポートAYUCO電子システムを改修し、利用者の利便性向上及びサポーター店舗の利用の促進を図った。	子育てパスポートAYUCOカード取得率	%	指標変更	—
		② 商店会が協力して行う販路拡大のための共同売出し、宣伝及び装飾等の事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	子育てパスポートAYUCOカード取得者数	人	10,178	11,428
		③ 商店会連合会が実施する商業振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	商店街活性化事業数	事業	16	27
実習材料やクラブ活動に係る消耗品・備品の購入費の一部を公費で負担します。	小・中学校保護者負担軽減事業	保護者の経済的負担を軽減するため、教育活動に必要な教材教具に係る経費の一部を公費で負担した。 【公費負担率】 ・ 小学校 13.0% ・ 中学校 20.9%	保護者負担軽減割合	%	17.6	17.0
経済的な理由により就学が困難な児童・生徒や特別支援学級等に就学する児童・生徒の保護者に対し、学用品費などの経費の一部を支給します。	就学支援事業	経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費などの経費の一部を支給した。 ・ 就学援助費支給者数 2,746人 ・ 特別支援教育就学奨励費支給者数 440人	就学援助者の就学率	%	100.0	100.0
			特別支援学級等援助者の就学率	%	100.0	100.0
幼稚園保護者会や市立小・中学校PTA等の家庭教育学級の開設を支援するとともに、家庭教育に必要な情報を提供する講演会等を開催するなど、子育てにいかすことができる情報を提供します。	家庭教育支援事業	① 家庭教育学級の開設に対し交付金を交付した。 【交付団体数】 ・ 私立保育園 1団体 ・ 私立幼稚園 9団体 ・ 市立小・中学校 20団体 ・ 私立初等学校 1団体 ② 家庭教育情報提供講演会を開催した。 ・ 参加者数 258人 ③ 「早寝早起き朝ごはん」を啓発するため、広報あつぎなどに啓発記事を掲載した。	家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	%	97.1	96.1

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ③	子育て環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育に要する費用や預かり保育に要する費用等を認定こども園及び給付型幼稚園に対して支給します。 また、「子ども・子育て支援新制度」に移行した認定こども園に対し、運営に必要な経費や子どもの処遇向上・保育内容充実、園の防犯対策整備に必要な経費の一部を補助します。	子ども・子育て支援新制度事業	① 新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に対し、施設型給付費を支給した。 ・ 支給施設数 市内9園、市外32園 ② 新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に対し、一時預かり保育の園児数に応じて補助金を交付した。 ・ 交付施設数 市内9園、市外10園 ③ 新制度に移行した認定こども園に対し、在籍園児以外の未就学児童の一時預かり保育児童数に応じて、補助金を交付した。 ・ 交付施設数 市内5園 ④ 認定こども園に移行した幼稚園または2・3号定員を増やした認定こども園に対し、事務に係る経費の一部を補助した。 ・ 交付施設数 市内7園 ⑤ 私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、就園に必要な物品等の費用や副食費の一部を補助した。	市内認定こども園数	園	7	7
保護者の就労等により、放課後に帰宅しても適切な保育を受けることができない児童を対象に、小学校の一時的余裕教室等を活用し、適切な遊びと生活の場を提供する放課後児童クラブを運営します。 また、放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブに対し、補助金を交付します。	放課後児童対策事業費	① 市立放課後児童クラブ（市立小学校区23か所）を運営した。 ② 放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブ（地域児童クラブ）に対し、補助金を交付した。	市立放課後児童クラブの入所率	%	92.6	93.4
			地域児童クラブの入所率	%	100.0	100.0
			待機児童対策放課後児童クラブの入所率	%	100.0	100.0
小学校の一時的余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、学習、様々な体験・交流活動及び地域住民との交流等を行う放課後子ども教室を運営します。	放課後子ども教室推進事業	① 相川小学校・鳶尾小学校・小鮎小学校・依知小学校において、通年で教室を実施した。 ② モデル校6校（緑ヶ丘小学校・毛利台小学校・戸室小学校・荻野小学校・飯山小学校・依知南小学校）において、講座を実施した。	放課後子ども教室実施校数	校	5	10
本厚木駅前のアミューあつぎ8階の託児室を利用し、園児を一時的に預かり、幼稚園へ送迎する幼稚園送迎ステーションを運営します。	幼稚園送迎ステーション事業	働く子育て家庭への支援として、アミューあつぎ8階の託児室「わたぐも」を活用して幼稚園への送迎を行う幼稚園送迎ステーション事業を実施した。	幼稚園送迎ステーションの利用登録園児数	人	53	58

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ③	子育て環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	幼稚園教諭確保助成事業	市内の私立幼稚園に就労する幼稚園教諭有資格者に対し、助成金を交付した。 ・ 奨学金返済助成金 4件 ・ 転入奨励助成金 3件 ・ 復職等奨励助成金 2件	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	6	4
			幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	2	3
			幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	0	2
新たな保育人材の確保等のため、市内の私立保育施設に勤務する方に対し、助成金を支給するほか、保育施設を運営する法人に対し、保育人材を雇用するための費用の一部を助成します。	保育内容充実事業	① 市内民間保育所及び市外保育所への入所児童に係る保育所運営費を委託費として支出した。 ② 保育が必要な児童に対して適切な処遇を図るため、届出保育施設、民間保育所及び小規模保育施設を有する社会福祉法人等に運営費補助金等を交付した。 ③ 私設保育施設等を利用する幼児教育・保育無償化対象保護者に対し、施設等利用費を支給した。 ④ 地域型保育事業（小規模保育事業・家庭的保育事業）を運営する事業者に対し、保育が必要な児童を受け入れるための経費を支給した。	認可保育所入所児童数	人	2,976	2,986
			小規模保育施設入所児童数	人	252	281
老朽化が進む市立保育所について、配慮が必要な児童の受入れを進めるための高度なバリアフリー化を取り入れるほか、災害時等における緊急的な保育の拠点となる施設として整備します。	市立保育所整備事業	小鮎保育所については、令和6年3月に建て替え整備を完了し、施設の老朽化の解消、バリアフリー化、保育室面積の拡充等を実現した。	市立保育所再整備数	施設	—	1
施設の安全面、機能面を強化し、安心した保育環境を実現するため、老朽化した認可保育所の建て替え、改修等の施設整備に要する費用の一部を補助します。	民間保育施設整備事業	市内認可保育所から整備に関する相談が2件あり、整備の必要性等を協議し、整備費補助等について検討した。令和6年度の具体的な整備件数は無し。	認可保育所・小規模保育施設整備数	施設	—	—

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ③	子育て環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
子育てに共通の意識を持つ保護者が、育児に対する知識や技術を高め合いながら共同保育を実施する自主保育グループに対し、運営費の一部を補助します。	コミュニティ保育推進事業補助事業	地域の保護者による自主的な共同保育を実施しているグループに対し、運営費の一部を補助した。 ・交付件数 2件	コミュニティ保育グループ数	グループ	2	2
市内の私立保育施設に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	保育士確保補助事業	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ① 奨学金返済助成金 7件 ② 転入奨励助成金 2件 ③ 復職等奨励助成金 3件	奨学金返済助成金支給者数	人	14	7
			転入奨励助成金支給者数	人	7	2
			復職等奨励助成金支給者数	人	2	3
子育て支援センターにおいて、児童の健全な成長や家庭に対する総合的な支援を行うほか、「ファミリー・サポート・センター事業」、「ほっとタイムサポーター事業」、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」など、多様な子育て支援を実施します。	子育て支援事業	① 子育てサロン室の運営を行い、子育て情報の提供や相談及び育児支援、子育て親子の交流の場の提供等を実施した。 ・ 子育てサロン室利用者数 64,052人 ・ 子育て講座参加者数（親子） 1,368人 ・ 移動子育てサロン利用者数 3,617人 ・ 相談件数 940件 ② 育児の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ・ 援助件数 3332件 ③ 産前産後の家庭にサポーターを派遣するほっとタイムサポーター事業を実施した。 ・ 利用件数 63件 ④ 生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問した。 ・ 訪問率 100% ⑤ あつぎ市民交流プラザ託児室を実施した。 ・ 託児室わたくも利用件数 3,681件	子育て支援センター利用者数	人	61,492	65,420
			ファミリー・サポート・センター援助活動件数	件	3,270	3,332
			託児室わたくも利用件数	件	2,611	3,693

具体的な施策 3	子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する					
主な取組 ①	魅力ある教育環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
全市立小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語によるコミュニケーション活動を充実させるとともに、他国の文化を学ぶ機会を提供します。	英語教育推進事業	① 市立全小・中学校に、英語を母語とする、または、それと同等の英語力をもつ外国語指導助手を配置した。 【配置人数】 ・ 12人 【配置日数】 ・ 小学校 1,264日 ・ 中学校 700日	「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた児童・生徒の割合	%	95.1	95.9
		② 市立小・中学校においてニュージーランドの学校とのオンライン交流を実施した。 ・ 期間 9月～3月 ・ 実施回数 小学校1校、中学校2校、計8学級で実施	「ALTとの授業は楽しい」と答えた児童・生徒の割合	%	95.2	92.5
		③ 市立中学生による短期留学を実施した。 ・ 対象 市立中学校在籍生徒10人 ・ 期間 8月5日（土）～19日（土）15日間 ・ 留学先 ロトトウナ ジュニアハイスクール（ニュージーランド、ハミルトン市） ・ 実績報告会及びレポート集作成を通して、市立小・中学校へ周知を図った。	「英語でコミュニケーションをとるのは楽しい」と答えた児童の割合	%	73.7	84.0
中学校区において、小・中学校9年間を見通した効果的な教育課程編成及び指導方法の工夫改善の研究や、学力向上につながる研修を実施します。 また、児童の中学校に対する不安を和らげるために行う、教員の小・中学校での授業の兼務を円滑にするため、中学校に非常勤講師を派遣します。	小中一貫教育推進事業	① 小・中学校間の円滑な接続及び児童・生徒の学力向上に向け、市立全小・中学校を対象に、同一中学校区にある小・中学校を研究グループとして、研究を行った。	「児童の中学校に対する不安を和らげることができた」と思う学校の割合	%	94.4	100.0
		② 中学校教員の小・中学校での授業の兼務を円滑に行うため、中学校に非常勤講師を配置した。 ・ 配置人数 2人	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較ポイントの伸び	ポイント	2.4	0.0
各校の重要課題や新たな課題等への対応、地域人材を有効に活用した特色ある学校づくりや教育の資質向上に関する研究活動を推進するため、全市立小・中学校に交付金を交付します。	教育研修・活動助成事業	① より良い教育活動の実践や特色ある学校づくりを推進するための必要経費や研究活動費に対し、市立全小・中学校に交付金を交付した。 ② 市立小・中学校36校でカーボンニュートラルの講座を実施した。	地域人材や講師などが児童・生徒1人に対して関わる人数	人	1.3	1.4
科学への興味・関心を高め、理科好きな児童・生徒の育成を図るため、こども科学賞や企業・大学と連携した「おもしろ理科教室」等を実施します。	SEL教育基金事業	① こども科学賞の作品展示及び授賞式を実施した。 ② 市立小学校において、「おもしろ理科教室」を大学及び企業の協力を得て実施した。 ・ 実施回数 24回 ・ 協力大学数 3校 ・ 協力企業数 7社 ③ SEL会社見学を実施した。 ・ 参加者数 市立中学生 18人	こども科学賞展示会の満足度	%	99.2	100.0

具体的な施策 3	子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する					
主な取組 ①	魅力ある教育環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
安全な教育環境づくりに取り組んでいると認められた学校に与えられるインターナショナルセーフスクールの考え方や手法を用い、児童・生徒がより安心・安全に過ごせる学校づくりを支援します。	インターナショナルセーフスクール推進事業	清水小、妻田小、睦合東中学校に対し、日本セーフコミュニティ推進機構による指導・助言及び研修会を実施した。	インターナショナルセーフスクール認証取得回数（累計）	回	清水小 5 妻田小 2 睦合東中 3	清水小 5 妻田小 2 睦合東中 3
いじめ、暴力行為等の問題行動や学校を取り巻く課題に適切に対応するため、関係機関と連携したプロジェクトチームを組織し、学校への効果的かつ機能的な支援の充実を図ります。	学校支援プロジェクト推進事業	① 児童・生徒の問題行動を解決するため、市立小・中学校への定期訪問を行った。 【訪問回数】 ・ 小学校 65回 ・ 中学校 36回 ② プロジェクトチームによる会議を開催した。 【開催回数】 ・ 小学校 1校 2回	プロジェクトチームの指導により問題行動等が解消・改善した割合	%	50.0	100.0
			定期的な学校訪問が、問題行動の未然防止に向けた児童・生徒指導の充実に効果があったと評価する学校の割合	%	97.2	94.4
児童・生徒の「確かな学力」の向上を図るため、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を通して、学ぶ意欲を育てるため、全市立小・中学校に学力ステップアップ支援員を配置します。	学力ステップアップ推進事業	充実した教育活動を推進するため、支援員を配置して学習支援を行った。 【配置人数】 ・ 小学校 42人(延べ人数43人) ・ 中学校 29人	「学力ステップアップ支援員との協働により、基礎的・基本的な学習の定着や学力向上につながるような授業展開ができた」と思う教員の割合	%	93.8	97.0
			「先生と支援員がいることで、学習が分かりやすく、意欲的に取り組める」と思う児童・生徒の割合	%	93.4	93.0
学校の実態に応じて少人数の学級を編制し、生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うため、非常勤講師を派遣します。	中学校少人数学級実施事業	対象となる学校・学年がなかったため未実施。	「生徒の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	%	98.2	0.0
			「生徒の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	%	98.6	0.0

具体的な施策 3	子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する					
主な取組 ①	魅力ある教育環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
児童指導担当教員等が「チーム支援」の核となり、不登校やいじめ、問題行動等を未然に防止し、早期発見することができるよう、非常勤講師を派遣します。	小学校児童支援推進事業	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるように、小学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣者数 19人	「児童の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	%	92.6	90.7
			「児童の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	%	100.0	97.2

【基本目標 4】

誰もが安心して自分らしく生き生きと
暮らせるまちをつくる

～転出抑制～

基本目標 4						
具体的な施策 1 誰もが生き生きと活躍できる場を創出する						
主な取組 ① 市民の健康保持増進						
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
地域包括支援センターにおいて、地域の高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援などを幅広く把握し、適切な保健・医療・福祉サービスや関係機関、制度の利用につなげるなどの支援を行います。	地域包括支援センター運営事業【介護保険事業特別会計】	地域の高齢者等から様々な相談を10か所の地域包括支援センターで受けた。 ・ 総合相談件数 51,572件	地域包括支援センターにおける総合相談件数	件	52,172	51,572
重度な要介護状態であっても、障がいがあっても、一人暮らしでも、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会の実現を目指します。	在宅医療・介護・生活支援推進事業【介護保険事業特別会計】	① 地域包括ケア連携センターを設置し、在宅医療・介護連携及び生活支援に関する相談業務を行った。 ② 厚木市地域包括ケア推進会議を開催し、専門的な視点から各種取組の研究・検討を行った。 ・ 会議開催 3回 ③ 多職種研修会や市民講演会を行い、地域包括ケア社会の実現に向け啓発活動を行った。 ・ 多職種研修会 全9回	地域包括ケア連携センターにおける相談件数	件	163	90
			多職種研修会参加者の満足（理解）度	%	97.6	94.0
市内の診療所等をはじめとする「かかりつけ医」を中心とした医療機関において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を早期発見するための特定健康診査を実施するとともに、人間ドックの受診費用の一部を助成します。	特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	① 健診実施医療機関において、特定健康診査を実施した。 ・ 対象者数 28,433人 ・ 受診者数 8,867人 ② 人間ドック受診希望者に対し費用の一部を助成した。 ・ 助成人数 1,310人 ③ 健康診断等の情報提供者に対し費用の一部を助成した。 ・ 助成人数 51人	特定健康診査の受診率	%	30.6	32.5
休日・夜間における救急医療体制を確保するとともに、24時間体制で健康相談や医療機関情報等の提供を行う「あつぎ健康相談ダイヤル24」を実施します。	救急医療事業	① 休日夜間急患診療所、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の開設等により、救急医療体制を確保した。 ② あつぎ健康相談ダイヤル24の実施により、安心・安全な医療環境を提供した。	休日夜間急患診療所開設日数	日	365	366
			休日歯科診療開設日数	日	24	25
			「あつぎ健康相談ダイヤル24」による不要不急な救急医療の抑制割合	%	54.9	52.3

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ①	市民の健康保持増進					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
日常生活で運動する機会の少ない障がい者、障がい児及び高齢者を対象に、水浴訓練室の開放や健康づくり教室等を実施します。	健康スイミング事業	65歳以上の高齢者を対象としたスイミング教室及び水中ウォーキング教室をレオスイミングスクール厚木校にて実施した。 ・ 秋期コース参加者延べ数 213人 ・ 冬期コース参加者延べ数 207人	健康スイミング事業参加者数	人	0	420
健康あつぎ推進リーダー等の養成や食育推進事業など、健康増進と食育推進を図る各種事業を実施します。 また、各種健診・検診の受診及び健康・食育関連事業への参加者等へポイントを付与し、特典を贈呈する「あゆコロちゃんGENKIポイント事業」を実施します。	健康づくり事業	① 健康あつぎ推進リーダーによる生涯学習出前講座等を開催した。 ・ 開催回数 38回 ・ 参加者数 848人	健康あつぎ推進リーダーによる講座の参加者数	人	380	848
		② 新あつぎ市民健康体操指導員による生涯学習講座等を開催した。 ・ 開催回数 9回 ・ 参加者数 511人	地区食育推進事業参加者数	人	102	171
		③ 食生活改善推進員の養成等を行った。 食育アドバイザー養成講座（2コース） ・ 参加者数 174人 食生活改善推進員育成研修会（3回） ・ 参加者数 53人 地区食育講座（15回） ・ 参加者数 171人	あゆコロちゃんGENKIポイント参加者数	人	9,844	4,722
予防接種法に基づく子どもの定期予防接種を実施するとともに、任意予防接種の費用を助成します。	予防接種事業	① A類予防接種を実施した。 ・ BCG 1,239人 ・ 二種混合 1,266人 ・ 水痘 2,402人 ・ 麻しん・風しん 2,694人 ・ 日本脳炎 5,506人 ・ ポリオ 4人 ・ 四種混合 5,300人 ・ ヒブ 4,970人 ・ 小児肺炎球菌 4,992人 ・ B型肝炎 3,702人 ・ ロタウイルス 2,569人 ・ 予診のみ 155人 ② 任意予防接種費用一部助成を実施した。 ・ 大人の風しん 185人 ・ 季節性インフルエンザ 12,418人 ③ 骨髄移植に伴う任意接種費用一部助成を実施した。 ・ 骨髄移植に伴う一部助成 3人	子ども定期予防接種率（子宮頸がんを除く）	%	96.1	94.1
高齢者を対象として、肺炎球菌ワクチン予防接種及びインフルエンザ予防接種を実施します。	（再掲） 予防接種事業	各種予防接種を実施した。 ・ 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種者数：1,086人 ・ 高齢者インフルエンザ予防接種者数：28,565人	高齢者インフルエンザ予防接種率	%	51.7	48.7

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ①	市民の健康保持増進					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
がん検診・健康診 査・歯科健診・骨粗 しょう症検診等の検診 事業、健康教育・健康 相談・訪問指導等の健 康増進事業及びいのち のサポート相談等の自 殺対策事業を実施しま す。	健康増進 事業	① 各種検診（健診）を実施した。 ・ がん検診（施設）延べ75,003人 ・ がん検診（集団）延べ8,890人 ・ 骨粗しょう症検診受診者数 191人	がん検診の受 診率	%	21.7	22.0
		② 健康増進事業として健康教育や 健康相談を実施した。 ・ 健康教育参加者数 342人 ・ 健康相談者数 430人	がん集団検診 の受診者数	人	8,320	8,890
		③ 自殺対策として相談事業を実施 した。 ・ メンタルヘルス相談者数 282 人 ・ いのちのサポート相談数 25人	歯科健康診査 の受診者数	人	6,115	5,772

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ①	市民の健康保持増進					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
「健康度見える化コーナー（未病センター）」において、利用者自身による各種健康機器を使った継続的な健康度チェックを可能にするとともに、専門職による健康に関する相談又は助言を行います。	未病施策事業	① 健康度見える化コーナーにおける利用者自身による健康度チェック・専門職による助言を行った。 ・利用者数 2,111人（男性：609人女性：1,502人） ② 未病運動講座を実施した。 ・3回/月×8か月＝24回開催 ・参加者数 901人	未病センター利用者数	人	1,938	2,111
誰でも気軽にニュースポーツを体験できる「スポーツなじみDAY」等を開催するとともに、公益財団法人厚木市スポーツ協会に対し補助金を交付し、スポーツ教室の開催やジュニアの育成等を行います。 また、日本体育大学との連携により、幼児から高齢者まで幅広い世代の体力向上や健康増進を図る事業を実施します。	市民スポーツ推進事業	① スポーツなじみDAYを開催した。 参加者数 1,058人 ② （公財）厚木市スポーツ協会に補助金を交付し、スポーツ大会等を開催した。 参加者数 12,878人 【内訳】 競技別市民選手権大会(23大会) 4,967人 スポーツ大会（8大会） 3,291人 スポーツチャレンジデー 275人 あつぎウオーク 335人 スポーツ教室等（37教室）1,179人 指導者養成支援事業（セミナー）285人 指導者養成事業（審判員・指導者養成）984人 選手育成強化事業 1,306人 スポーツ人のつどい 256人 ③ 市民体力向上推進事業を開催した。 ・「厚木はやぶさFC連携事業市立保育園サッカー教室」88人 ・「スポーツキャンプ イン 日体大」8人 ・「元バドミントン日本代表選手潮田玲子氏講演会」241人 ・「フィジカルトレーナーとヨガインストラクターの”五感リカバリー” 特別教室」会場19人、オンライン32人	スポーツ行事の参加者数	人	14,026	13,936
			講師派遣事業の参加者数	人	889	388
			あつぎスポーツアカデミー参加者アンケートの総合的な満足度において「とても満足」及び「やや満足」と回答した人の割合	%	94.5	95.0

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ②	学ぶ場と活躍の場の創出					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
高齢者の就業機会の拡大を図る厚木市シルバー人材センターの運営費を補助します。また、関係機関の連携を強化し、高齢者の多様な就労ニーズに対応した仕組みを構築します。	高齢者生きがい就労事業	シルバー人材センターの運営費に対し、補助金を交付した。	シルバー人材センター会員数	人	998	1,023
高齢者の生きがいづくりや健康づくり等を推進している厚木市老人クラブ連合会の運営費を補助します。	老人クラブ指導育成事業	厚木市老人クラブ連合会に対し、運営事業補助金を交付した。	老人クラブ加入者	人	3,715	3,466
誰もが気軽に立ち寄ることができ、交流の場としての機能を備え、科学を始めとした学びや体験機能が充実した施設を整備します。	(仮称) 未来館整備事業	公募型プロポーザルにて、(仮称) 未来館内装・展示設計・製作等業務委託の事業者を選定し、実施設計に着手した。	(仮称) 未来館整備に向けた進捗状況	—	基本設計	実施設計
外国籍市民が、地域の構成員として共に暮らす社会をつくるため、日本語教室やインターナショナルティーサロンを開催し、多文化共生の推進を図ります。	多文化共生交流事業	① 厚木市外国籍市民交流委員会会議を開催した。 ・ 開催回数 5回 ② 日本語教室を開催した。 ・ 開催回数 210回 ・ 参加者数 延べ3,524人 ③ 日本語講師養成講座を開催した。 ・ 開催回数 全5回 ・ 参加者数 延べ218人 ④ 日本語講師ブラッシュアップ講座を開催した。 ・ 開催回数 全2回 ・ 参加者数 延べ70人 ⑤ インターナショナルティーサロンを開催した。 ・ 参加者数 96人 ⑥ スペイン語の通訳ボランティアの設置した。 ・ 毎週1回2時間	日本語教室参加者数	人	2,479	3,524
「市民文化祭」、「市民芸術祭」、「野外彫刻造形展」及び「あつぎミュージックフェスティバル」を開催することにより、市民による多様な文化芸術活動を推進します。	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	① 市民文化祭を開催した ・ 参加者数 1,996人 ② 野外彫刻造形展を開催した。 ・ 参加者数 (作品出展者数) 650人 ③ 市民芸術祭を開催した。 ・ 参加者数 (出演者数) 14人 ④ あつぎミュージックフェスティバルを開催した。 ・ オーディション参加者数 38人	文化芸術事業の参加者数	人	2,720	2,698

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ②	学ぶ場と活躍の場の創出					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
市民が講師となり自主的に講座の企画・運営を行う「輝き厚木塾」を実施するとともに、市内高等学校における「リカレント学習講座」を実施します。	生涯学習振興事業	① 輝き厚木塾を実施した ・ 前期講座（5月～8月開催）91講座 受講者数 839人 ・ 後期講座（10月～1月開催）88講座 受講者数 828人 ② 生涯学習出前講座を実施した。 ・ 実施回数 109回 ・ 参加者数 2,939人	輝き厚木塾及びリカレント学習講座の受講者数	人	1,311	1,667
市内5大学との包括協定に基づく各大学の特徴をいかした教養科目や市の施策・概要等を学ぶ協働科目、市内企業の技術や取組を学ぶ企業科目を実施するとともに、市民活動を始めための実践科目等を実施します。	あつぎ協働大学開設事業	① 教養科目を実施した。 ・ 5大学25講座 ・ 参加者数 529人 ② 特別講座を実施した。 ・ 2大学4講座 ・ 参加者数 61人 ③ カーボンニュートラル講演会を実施した。 ・ 参加者数 21人 ・ 視聴回数 204回	あつぎ協働大学受講者のうち、講義全体の評価として「とても満足」、「満足」と答えた人の割合	%	82.1	93.5
各公民館において、各種学級・講座を開設するとともに、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ推進事業及びスポーツ・レクリエーション推進事業を実施します。	公民館活動事業	各公民館において、社会教育法第20条及び第22条の規定に基づく各種学級・講座を開設するとともに、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ事業、スポーツ及びレクリエーション推進事業を実施した。	学級・講座の満足度	%	69.7	73.9

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ②	学ぶ場と活躍の場の創出					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
学習ニーズの多様化への対応及び地域コミュニティの活性化を図るため、生涯学習や地域コミュニティ活動の拠点施設となる公民館を整備します。	公民館整備事業	① 新築工事前に住民説明会の開催や、家屋調査、テレビ電波調査を実施し、新厚木北公民館建設に向けて令和5年8月から新築工事に着手した。	厚木北公民館整備の進捗状況	—	基本実施設計	建設工事
		② 睦合南公民館の整備に向けて検討・協議を行った。	睦合南公民館整備の進捗状況	—	検討・協議	検討・協議
「郷土芸能まつり」や「郷土芸能普及公演」など、郷土芸能の鑑賞の場を数多く提供するとともに、後継者育成のための体験講座や郷土芸能学校を開催します。	郷土芸能事業	① 小学校、幼稚園等30か所で普及公演を実施した。 ・ 普及啓発事業 33回 参加者数 3,446人 ・ 体験事業 19回 参加者数 260人 ・ 自主公演等 4回 参加者数 947人	普及公演鑑賞者数	人	5,172	4,653
		② 出前体験教室、相模人形芝居普及公演で体験講座を実施した。 ・ 12回 237人	体験講座参加者数	人	815	260
		③ 郷土芸能学校を開催した。 ・ 延べ8回	郷土芸能団体新規加入者数	人	21	7
歴史、民俗及び自然に関する資料を収集し、調査研究の成果を資料として後世に残すとともに、展示会や講座を通して市民に公開します。	あつぎ郷土博物館活動推進事業	あつぎ郷土博物館で講座等を実施した。 入館者数 27,090人 ・ 開館5周年記念セミナー（相模里神楽垣澤社中） 参加者数 113人 ・ 渡辺華山講座 参加者数 38人 ・ 触れて感じる新しい博物館体験講座 参加者数 21人 ・ 考古学お菓子作りワークショップ 参加者数 40人 ・ 毛利氏講座 参加者数 65人	あつぎ郷土博物館の入館者数	人	23,115	27,090
市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点となる新中央図書館を整備します。	図書館整備事業	複合施設の整備については、計画に基づき、実施設計及び施工を進めた。 また、厚木市複合施設図書館実施設計アドバイザー業務委託において、実施設計業務の支援や備品計画、配架計画等の検討を行った。	新たな図書館整備に向けた進捗状況	—	実施設計準備	実施設計
			ICタグ導入に向けた進捗状況	—	調達検討	調達検討

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ③	市民協働の更なる推進					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
自治会長と市長とのまちづくりフリートークや子育てコミュニティトーク、市長の移動談話室等を実施し、市民ニーズを的確に把握するとともに、市民協働によるまちづくりを推進します。	市民対話事業	あつぎタウンミーティングを開催した。 ・自治会 15回 ・青少年関係団体 1回 ・商工会議所 1回 ・市PTA連絡協議会 1回 ・園芸協会いちご部会 1回 (計19回開催)	市民対話等要望対応率	%	72.7	79.8
神奈川県が開発したスマートフォンアプリを活用し、SDGsつながりポイント事業として「まちのコイン」を実施するなど、SDGsの取組を身近に感じられる事業を展開します。	SDGs推進事業	① SDGsつながりポイント事業「まちのコイン」を実施した。 ・登録ユーザー数 3,315人 ・登録スポット数 84か所 ② あつぎSDGsフェスティバルを開催した。 ・参加者数 2,000人 ③ 第2期あつぎSDGsパートナーを登録した。 ・登録団体数 42団体 ④ あつぎSDGsキャンパスを開催した。 ・参加者 500人 ⑤ 厚木市版のSDGsボードゲームを作成した。	「まちのコイン」ユーザー登録者数（総数）	人	2,328	3,315
			「まちのコイン」スポット登録数（総数）	か所	61	84
			「まちのコイン」ユーザーアンケートで「SDGsがよく理解できた」と答えた人の割合	%	85.3	82.4
「厚木市市民協働推進条例」に基づく施策及び取組を行うとともに、市民活動団体との協働により、地域課題の解決を目指す市民協働提案事業を実施します。	市民協働推進事業	市民協働提案事業を実施した。 ・市民提案型事業実施件数 2事業 ・行政提案型事業実施件数 1事業 ・令和6年度実施事業採択件数 5事業	市民協働提案事業の実施件数	件	5	3
各地区地域づくり推進委員会の活動を支援するための補助金を交付するとともに、「厚木市自治基本条例」に規定する地区市民自治推進組織の活動を支援します。 また、「あつぎ市民ふれあい都市宣言」を啓発するため、啓発物品の配布や各種事業に都市宣言の趣旨を反映させる活動等を行います。	コミュニティ推進事業	① 市内15地区の地域づくり推進委員会に対し、補助金を交付した。 ② 「あつぎ市民ふれあい都市宣言」については、啓発物品を作成し、各地区市民センターで配布した。	自治会やボランティア等との協働により、よりよいまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	42.3	43.6
市民活動団体等に対し、活動拠点や交流の場を提供するとともに、活動支援や人材育成を行います。	市民活動推進事業	① ボランティア相談を実施した。 ・相談件数 14件 ② ボランティア講座を開催した。 ・講座開催回数 3回 ③ 市民活動補償制度を運用した。 ・対象事故件数 4件 ④ ボランティア団体及び市民活動団体に対し、補助金を交付した。 ・交付団体数 10団体	ボランティアや市民活動への参加の意欲が高まった人の割合	%	100.0	100.0

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ①	防災・減災対策の充実・強化					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
大規模災害発生時における被害を最小限に抑え、市民の生命、身体及び財産を保護するため、震度分布図、液化分布図、最新の土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を反映したオールハザードマップを作成し、全戸配布します。	オールハザードマップ等作成事業	令和3年度事業完了	オールハザードマップの作成・配布	—	—	—
地震被害想定調査結果等を基に、各地区の災害リスクを洗い出すとともに、その対応策をまとめた地区別防災マップを市民と協働で作成します。	地区別防災マップ作成事業	令和3年度事業完了	地区別防災マップの作成	—	—	—
「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に活動する自主防災隊及び避難所運営委員会の育成・強化を図るため、防災資機材等取扱研修会及び市民防災研修会を開催します。	地域防災力強化事業	① 防災指導員や防災推進員に対する資機材等の取扱研修会及び市民防災研修会を開催した。 ② 自主防災隊の防災資機材倉庫の計画的な修繕・移設を行った。	地域防災リーダー等の講習会参加者数	人	679	473
大規模な自然災害の発生に備え、市民一人一人の防災意識の高揚を図り、災害対応力を高めるため、総合防災訓練や防災講習会、地震体験車による震度体験等を実施するとともに、啓発用パンフレット等を配布します。	総合防災訓練等事業	① 市及び自主防災隊において総合防災訓練を実施した。 ・ 参加者数 11,294人 ② 起震車による震度体験等を実施した。 ・ 実施件数 53件 ・ 体験者数 4,274人	防災訓練参加者数	人	8,893	11,294
			防災講習会受講者数・震度体験者数	人	3,661	4,274
県による崩壊対策工事の対象外となっている地域において、急傾斜地等の崩壊から市民の生命、財産を守るため、崩壊防止対策工事費の一部を補助します。	急傾斜地安全対策事業	急傾斜地等の崩壊から市民の生命、財産を守るため、崩壊防止対策工事費の一部を助成した。 ・ 交付件数 3件	相談件数に対する崩壊防止対策工事実施率	%	55.0	65.0
地震等の災害により想定される被害を軽減するとともに、「災害に強いまちづくり」を実現するため、過去の災害から学んだ教訓や対策等を計画に反映させ、現状に即した計画として改定します。	地域防災計画改定事業	令和4年度事業完了	地域防災計画の改定	—	改定	—

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ①	防災・減災対策の充実・強化					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
防災行政無線を補完する防災ラジオの購入を希望する市民に対し、有償配布を行います。	新型防災ラジオ整備事業	防災ラジオを市民へ有償配布した。 ・ 2023年度市民有償配布 331台 ・ 2016-2023年度累計 4,172台	新型防災ラジオ配布台数 (2016-2023年度累計)	台	3,841	4,172
頻発化・激甚化する風水害や切迫する大規模地震への対策など、多様化する災害に対応した都市づくりを推進するため、防災・減災及び復興事前準備の方針と取組を示す「厚木市防災都市づくり計画」を策定します。	防災都市づくり計画策定事業	令和4年度事業完了。	防災都市づくり計画の策定	—	策定	—
災害リスクの高いハザードエリアからの移転等を希望する市民に対し、除却費等の一部を補助します。 また、「厚木市コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画」に定める居住誘導区域内に移転する市民に対し、移転費等の一部を補助します。	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	「厚木市居住誘導区域(がけ地近接等危険住宅)移転事業補助金」の内容を拡充(補助金額の増額及び補助対象の拡大)し、チラシの配布や広報紙への掲載等により周知を図った。	危険住宅移転件数	件	0	0
局地的集中豪雨による都市機能等への影響を及ぼす浸水被害の最小化を図るため、本厚木駅周辺に雨水貯留管を整備します。	公共下水道厚木排水区浸水被害軽減事業【公共下水道事業会計】	令和4年度事業完了	雨水貯留施設(北地区)整備の進捗状況	—	工事・完成	—
浸水被害が発生している箇所の雨水管整備を進め、浸水被害の解消を図ります。	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	恩名3丁目、三田、上依知、岡田5丁目、栄町2丁目において5件の雨水管整備工事を実施した。	浸水対策工事件数	件	4	5
市民が的確な避難行動を選択することができるよう、準用河川における氾濫危険水位等を設定します。 また、治水対策として、流下能力等の機能を保全するため、河川施設や河床整理に関する実施計画を作成します。	準用河川安全対策事業	厚木市河川等施設維持管理方針に基づき、準用河川善明川及び山際川の現地調査及び維持管理計画を策定した。	氾濫危険水位設定箇所数	か所	0	—
			維持管理計画作成河川数	河川	—	2

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ①	防災・減災対策の充実・強化					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
地域防災力の中核として活動する消防団員の活動環境の充実を図るため、安全装備品等を整備します。 また、消防活動を後方から支援する厚木市大規模災害サポート隊の充実を図ります。	消防団活性化事業	① 消防団員装備品の改善及び消防団安全装備品の整備を行った。 ・ 活動服 97着 ・ 防火衣 34着 ・ トランシーバー 52個	消防団員装備品改善率	%	81.8	100.0
		② 大規模サポート隊の体制の充実を図った。 ・ 隊員数 64人	大規模災害サポート隊隊員数	人	64	64
消防・防災拠点である消防庁舎機能の充実を図るため、施設の整備及び改修を行います。	消防庁舎整備事業	令和4年度事業完了	相川分署整備の進捗状況	—	解体工事	—
			南毛利分署整備の進捗状況	—	解体工事	—
			睦合分署消防訓練場整備の進捗状況	—	解体改修工事・訓練施設設置	—
複雑多様化、大規模化する災害に的確に対応するため、消防資器材を計画的に整備し、消防力の充実・強化を図ります。 また、ウイルスやテロ災害等に対応するための特殊災害資器材を整備し、市民の安心・安全を確保します。	消防資器材整備事業	① 空気呼吸器用高圧容器（空気ボンベ）整備した。 ・ 整備本数 20本 ② 陽圧式化学防護服を整備した。 ・ 整備着数 4着 ③ 消防用ホースを整備した。 ・ 整備本数 19本	高圧容器（空気ボンベ）更新整備本数	本	20	20
			陽圧式化学防護服整備着数	着	4	4
			消防用ホース更新整備本数	本	42	19

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ②	安心・安全な環境の整備					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
市民生活における様々な悩みや問題を解決に導くため、市民相談員や市職員が相談に応じる一般相談のほか、弁護士や税理士等の専門家による特別相談を実施します。	市民相談事業	① 一般相談を実施した。 ・ 相談件数 2,843件 ② 11項目の特別相談を実施した。 ・ 相談件数 1,030件	市民相談受理件数	件	3,404	3,873
市民安全指導員によるパトロールの実施や、地域において青色回転灯搭載車（青パト）を運用して自主防犯活動を実施する団体に補助金を交付することにより、街頭犯罪の未然防止と地域の自主防犯活動を推進します。	防犯対策事業	① 防犯意識の向上を図るため、番屋、移動番屋で防犯用啓発物品の配布をするとともにケータイSOSネットによる防犯情報の配信を行った。 ② 防犯パトロール隊による市内巡回パトロールや移動番屋等を実施した。 ・ 防犯パトロール隊 7人 ③ 地域の自主防犯活動を強化するため、地域の青パト活動に対し、交付金を交付した。 ・ 交付団体数 14団体	刑法犯認知件数（暦年）	件	1,102	1,262
			青色回転灯搭載車（青パト）台数	台	131	133
			特殊詐欺被害件数（暦年）	件	38	38
客引き行為等指導員によるパトロール等を実施するとともに、自治会、商店街、警察等との協働による環境浄化パトロール活動を実施し、本厚木駅周辺における体感治安の向上及び犯罪の未然防止を図ります。	本厚木駅周辺環境浄化対策事業	① あつぎセーフティステーション番屋において、防犯に関する様々な情報を発信し、防犯意識を高めた。 ② 番屋配置の客引き行為等指導員10人（ローテーション）による本厚木駅周辺のパトロールを実施して客引き行為等を防止し、公共の場所を安心して安全に利用できる生活環境の確保に努めた。 ③ 年末年始における街頭犯罪防止特別パトロールを委託により5日間実施した。 ④ 本厚木駅周辺環境浄化対策協議会による環境浄化パトロールを実施した。	「本厚木駅周辺の体感治安がよくなった」と回答したケータイSOSネット登録者の割合	%	44.0	51.0
振り込め詐欺、悪徳セールス、架空請求、アポイント電話等の被害から、市民の財産を守るため、迷惑電話防止機能付き電話機等の購入費の一部を補助します。	振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	迷惑電話防止機能付き電話機等の購入費補助制度について、広報あつぎや自治会の回覧等で周知を図り、申請者に補助金を交付した。 ・ 補助件数 359件	特殊詐欺被害件数（暦年）	件	38	38

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ②	安心・安全な環境の整備					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
自主防犯活動団体（自治会等）が設置する防犯カメラの設置に要する費用の一部を補助することにより、地域の防犯力を強化し、市民の体感治安の向上を図ります。	安心・安全対策整備事業	申請のあった5団体9台の防犯カメラについて、設置に係る経費の一部を補助を行った。	刑法犯認知件数（暦年）	件	1,102	1,262
			防犯カメラを設置する自主防犯活動団体（自治会等）数	団体	4	5
誰もがいつまでも健康で安心・安全に暮らせるまちを目指し、市民や行政等が協働して事故やけがの予防対策に取り組み、セーフコミュニティ活動を推進します。	セーフコミュニティ推進事業	安心・安全に関する講演会等の実施により、セーフコミュニティの活動を周知するとともに、安心・安全に関する意識の高揚を図った。 ・参加者数 1,379人	セーフコミュニティに関する研修会参加者数	人	1,070	1,379
			「事故やけがなどが無い健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている」と思う市民の割合	%	37.0	41.6
地域の安心・安全に関する課題抽出や対策などを行う研修会やワークショップの開催を支援します。	地域セーフコミュニティ活動推進事業	セーフコミュニティの継続的な推進に向け、セーフコミュニティ総合指導員を地域に派遣して、講習会を実施し、啓発活動を行った。また、市民のニーズに合わせ、講習テーマに住宅防火、予防救急を追加した。 ・参加者数 525人	研修会の参加者数	人	371	525
			セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	%	92.0	93.6
消費者トラブルに巻き込まれた方への相談業務を行うとともに、消費者トラブルの未然防止を図るため、啓発活動を実施します。	消費生活相談・消費者意識啓発事業	① 専門知識を有する消費生活相談員による適切な相談を実施した。 ・消費生活センター稼働日数 243日 ・相談件数 1,367件 ② 出前講座等を通じて啓発活動を実施した。 ・啓発者数 7,235人 【内訳】 講習会・講座参加者等 1,079人 公民館まつり 2,800人 移動番屋 3,356人	消費生活苦情相談完結率	%	100.0	99.8
			消費生活に関する講演会・講座参加者及び移動番屋等での啓発者数	人	7,497	7,235
交通安全の啓発や交通指導を実施するとともに、交通安全教育や交通安全指導者の育成、児童・高齢者等への啓発活動を実施します。 また、交通関係団体が実施する交通安全啓発活動等を支援します。	交通安全対策事業	① 交通安全関係団体による市内各所で立哨及び啓発活動を実施した。 ② 交通安全教育を実施した。 ・保育園 13回 905人 ・小学校 19回 6,845人 ・中学校 4回 1,881人 ・高校 13回 3,034人	交通事故発生件数（暦年）	件	617	620

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ②	安心・安全な環境の整備					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
幼児や児童、高齢者等を対象に、自転車ヘルメットの購入費用の一部を助成するとともに、一定の要件を満たす方を対象に、幼児2人同乗用自転車の購入費の一部を助成します。 また、交通ルール遵守及び交通マナーの向上により一層取り組むため、市内中学生を対象にスケアード・ストレイト教育技法による自転車安全教室を実施します。	自転車安全促進事業	① 自転車ヘルメット購入費用の一部助成を行った。 ・ 助成件数 3,573件 ② 幼児2人同乗用自転車購入費用の一部助成を行った。 ・ 助成件数 13件 ③ スケアード・ストレイト自転車安全教室を実施した。 ・ 実施校 荻野中・林中 厚木中・依知中	児童の自転車ヘルメット着用率	%	75.5	79.8
			スケアード・ストレイト教育により交通安全に対する意識が向上した生徒の割合	%	100.0	100.0
放置自転車の指導啓発・整理業務、移動保管料の徴収及び移動作業業務を実施し、放置自転車の減少を目指すとともに、良好な生活環境を保持します。	放置自転車対策事業	放置自転車の回収を行った。 - 回収台数 613台（内訳） - 引取・警察引取 157台 - リサイクル 175台 - 処分済 88台 - 保管中 193台	放置自転車年間移動台数	台	657	613
児童・生徒の登下校時における安全を確保するため、防犯ブザーを配布するとともに、学童通学誘導員を配置します。	児童・生徒登下校等安全推進事業	令和5年度新入学児童に対して防犯ブザーを配布した。 配布個数 1,800個	児童の防犯ブザー携帯率	%	89.6	90.2

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ①	快適な生活環境の創出					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
生活利便施設が不足している地域において、スーパーやコンビニエンスストア、診療所などの立地を促進するため、事業者に対し施設整備等に係る費用の一部を補助します。	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	「厚木市生活利便施設立地促進事業補助金」の交付決定を行ったスーパー1件及び診療所1件が事業を開始したことにより、周辺地域における生活利便性の向上を図った。	スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	%	80.4	82.2

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ②	利便性の高い交通環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
路線バスを補完する日常生活に必要な移動手段の確保を目的として、地域住民との協働によりコミュニティ交通の導入を検討し、実施します。	コミュニティ交通運行事業	① 鳶尾、まつかげ台、みはる野地区で、継続運行を実施するとともに、毛利台地区ではアンケート調査の結果を基に、実証実験を実施した。 ② アメニティヒル本厚木及びタウンミーティングで抽出した上依知、下依知、宮の里地区の住民を対象に日常の移動に関するアンケートを実施した。	コミュニティ交通利用者数	人	4,053	4,282
			コミュニティ交通運行管理事業補助金交付	—	実施	実施
			コミュニティ交通導入検討地区数（累計）	地区	3	6
路線バスの定時性及び速達性の確保のため、バスレーンや信号制御方法の変更等を検討し、路線バスの利便性向上を図ります。	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	交通量の多い国道246号愛甲宮前交差点付近のバス路線の混雑解消、及び「都市機能誘導区域」である愛甲石田駅周辺地区へのアクセス性向上を図るため、愛甲石田駅へ向かう路線について、道路交通の整流化検討を行った。	路線バス定時性確保対策	—	協議検討	協議検討
交通事業者に対し、ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入、バス停留所の上屋等の設置に要する費用の一部を補助します。	地域公共交通対策事業	バス事業者が行うバス停上屋及びベンチの設置費用並びにノンステップバス導入費用、さらに、タクシー事業者が導入するユニバーサルデザインタクシー導入費用に対し、補助金を交付した。	バス停上屋又はベンチ設置箇所数	か所	2	2
			ノンステップバス導入台数	台	0	3
			ユニバーサルデザインタクシー導入台数	台	0	7
地域住民等の移動ニーズに対応するために、交通事業者が行う次世代モビリティシステムの導入を支援し、地域公共交通の確保・維持を図ります。	次世代モビリティシステム検討事業	次世代モビリティに関する研修会等に参加し、導入についての調査研究を行った。	次世代モビリティシステムに関するセミナー等への参加回数	回	8	8
厚木秦野道路の早期整備を促進するため、国の「用地国債先行取得制度」を活用し、国に代わって事業用地を先行取得します。	厚木秦野道路用地取得事業（用地国債）【公共用地取得事業特別会計】	厚木秦野道路の建設事業を強力に促進するため、国の用地国債先行取得制度を活用し、道路整備に必要な用地を国に代わって先行取得した。 ・取得筆数及び面積 14筆 3,915.56㎡	用地取得執行率	%	95.6	88.4

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ②	利便性の高い交通環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
都市計画道路を整備し、安全で快適な市民生活を確保するとともに、交通混雑の解消を図ります。	街路整備事業	① 都市計画道路厚木環状3号線において、5件の設計・測量等委託を実施するとともに、9件の整備工事を実施した。また、2件の継続工事の進捗を図った。	厚木環状3号線整備延長 (L=1,700m) (2018-2023年度累計)	m	1,504	1,608
		② 都市計画道路本厚木下津古久線において、1件の委託を実施するとともに、1件の地盤改良工事及び2件の整備工事、1件の早期整備工事を実施した。また、1件の継続工事に着手した。 ③ 都市計画道路酒井長谷線において、1件の継続工事に着手した ④ 都市計画道路上今泉岡津古久線において1件の設計を実施した。 ⑤ 都市計画道路厚木環状2号線において、1件の測量を実施した。	本厚木下津古久線整備延長 (L=1,700m) (2018-2024年度累計)	m	358	613

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ②	利便性の高い交通環境の充実					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
地域の主要道路として、地域間の連続性、通行の円滑性及び安全性等の観点から、計画的に拡幅改良を実施し、地域交通環境の有効な改善を図ります。	幹線市道新設改良事業	① 金田妻田線において1件の早期整備工事を実施した。 ② 白根才戸線において1件の設計委託及び1件の土質調査委託を実施した。	整備延長	m	85	45
交通支障の発生する交差点等において、交通の円滑化を図るための改良を行います。 また、安全性を向上するため、即効性の高い交差点改良を実施します。	交差点等改良事業	交差点等の測量委託4件、設計委託4件、検討委託2件、交通量調査1件及び愛甲石田駅北口広場の環境整備を1件実施した。	整備箇所数	か所	1	1
1・2級市道に係る歩行者の通行（通学路や公共施設周辺）の安全性に考慮し、計画的な歩道整備を実施します。特に、バリアフリーの視点から安全かつ円滑な歩行空間の確保に努めます。	歩道整備事業	通学路安全整備事業に統合	整備延長	m	—	—
自転車ネットワークを構成する路線を対象に、安全で快適な自転車走行空間を創出するため、計画的に整備します。	自転車走行空間整備事業	愛甲長谷線及び中心市街地において、ピクトグラム及び矢羽根型路面表示を実施した。	自転車走行空間整備延長	km	1.1	6.2
都市計画道路の整備に必要な道路用地の取得及び物件移転補償を行います。	街路用地取得事業	厚木環状3号線等都市計画道路の整備事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	都市計画道路の用地買収着手路線数	路線	3	2
幹線市道、1・2級市道、一般生活道路の新設・拡幅などの道路改良事業に必要な道路用地の取得及び物件移転補償を行います。	道路整備用地取得事業	1・2級市道及び一般生活道路の新設、拡幅等道路改良事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	生活道路用地取得着手路線数	路線	26	22
			幹線道路等用地買収着手路線数	路線	—	3

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ③	憩いや安らぎの場の創出					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
里地里山の保全と再生の促進を図るため、保全活動を実施する団体に補助金を交付するほか、助言や相談など総合的な支援を行います。	里地里山保全等促進事業	① 活動団体との意見交換会を7月に開催し、現状や課題の把握に取り組んだ。また、市が認定する8団体に対して、補助金の交付や定期的なヒアリングなど活動支援を実施した。	里地里山保全等活動協定地の総面積	ha	6.7	6.2
		② 市民等への里地里山保全活動の周知を図るとともに、新たな活動参加者を広く募るため、タウンニュースによる広報活動を行った。 ③ 活動団体の会員減少や高齢化への対応を進めるため、大学連携による学生ボランティアを募り、団体と一緒に保全活動を行った。	里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合	%	25.6	25.5
谷戸や水辺を再生し、多様な動植物の生育環境の再生・保全を図り、市民が自然観察や散策など、水辺と親しめる環境を整備します。	谷戸水辺再生事業	令和3年度事業完了	谷戸水辺再生箇所数（累計）	か所	—	—
恩曽川に整備された親水広場や善明川を活用し、近隣小学校の児童による環境学習を実施します。 また、相模川三川合流点地区において、水辺と人とのふれあいをより身近にする憩いと活動の場を整備します。	水辺ふれあい創出事業	① 恩曽川及び善明川において、水辺ふれあい事業を実施した。 ・ 6月21日（恩曽川・地蔵橋親水広場） ・ 6月28日（恩曽川・高坪橋親水広場） ・ 6月14日（善明川・長坂山ノ根水辺の広場）	親水広場を活用した環境学習の実施回数	回	2	3
		② 相模川水辺ふれあい拠点創出事業については、河川協議及び相模川水辺ふれあい拠点創出事業実施設計委託を実施した。	相模川三川合流点地区における水辺交流拠点整備の推進状況	—	関係機関協議	基本設計 関係機関協議
施設の老朽化や機能の低下、樹木により見通しが悪い公園等を安心して過ごすことができる公園として改修するとともに、健康増進やバリアフリー化等の市民ニーズに対応した公園として整備します。	公園緑地整備事業	① 公園の整備等工事を実施した。 ・ 整備等公園数 11公園	新規・既存公園整備箇所数	か所	33	11
		② 防災用ベンチを整備した。 ・ 設置公園数 4公園	防災用ベンチ整備公園数 ※カッコ内は総数	公園	12 (90)	4 (94)
「緑のまつり」を開催することにより、緑に触れ合い、親しみながら緑の大切さの育成を図ります。	緑を豊かにする事業	5月13日、14日の2日間、緑のまつりを開催し、緑を大切にすることの意識の啓発を行った。また、SDGs啓発のため、グリーンディングキャラクターとの握手・撮影会や絵本読み聞かせ会を実施したほか、ステージでのパフォーマンス、緑に親しもう教室、さつき等盆栽展などを開催した。 ・ 参加者数 41,000人	緑を大切にしようと思うイベント参加者の割合	%	100.0	100.0

具体的な施策 4	自主・自立のまちづくりを推進する					
主な取組 ①	積極的な財源の確保					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
「第7次厚木市行政改革大綱実施計画」を着実に推進するとともに、市民の声を取り入れた効果的かつ効率的な行政運営を行うため、「市民参加型外部評価」を実施します。 また、更なる業務の効率化や生産性の向上を図るため、RPA等の新技術を導入します。	行政改革推進事業	① 事務事業評価を実施し、事業の見直しを行った。 ・ 対象事業 489事業 ② 業務の効率化及び生産性の向上を図るため、RPA及びAI-OCRの対象業務を拡大した。 ・ RPA導入 23業務 ・ AI-OCR導入 14業務	「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている」と思う市民の割合	%	29.5	30.9
			第7次行政改革の推進度	%	83.6	78.2
			RPA導入業務数（累計）	件	20	23
予算削減や財源確保の努力を評価する仕組みを研究するとともに、事業見直しに資する新たな仕組みを検討し、事業のスクラップ・アンド・ビルドや事業内容の見直しを積極的に行います。	事業の積極的な見直し	令和5年5月に「事務事業評価の実施に係るガイドライン」を策定し、総合計画事業489事業を対象に事業の評価を行った。 （内訳） ・ 拡大 30 ・ 継続 439 ・ 縮小 9 ・ 廃止 11	指標なし			
ふるさと納税の活用、広告掲載事業の推進及び国庫等補助金の確保等により、自主財源を積極的に確保します。	自主財源の確保	① 新たな財源を確保するため、ネーミングライツ（命名権）の活用を進めた。 ・ 契約締結 1件 ② 国庫補助金等の特定財源を確保するとともに、ふるさと納税や債券運用等の自主財源の確保について積極的に取り組んだ。 ・ ふるさと納税等寄附額（個人及び団体） 10億7,277万円 ・ 財政調整基金等運用収入額 5,398万9千円	指標なし			
債権回収業務のノウハウの共有、関係課の連携強化及び債権収納率向上のための研究を行い、市債権を確実に収納します。	市債権の収納強化	コールセンターを活用した早期納付勧奨等により、市税滞納者の減少に努めるとともに、デジタル化した預金調査により、滞納処分早期に着手することで、財源確保に努めた。 また、市税等キャッシュレス決済の更なる充実を図り、納税環境の整備を進めることで、財源確保に努めた。	指標なし			

具体的な施策 4	自主・自立のまちづくりを推進する					
主な取組 ②	庁内組織体制の最適化と人材育成					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
「厚木市人材育成基本方針」に基づき、「風通しの良い職場」、「キャリアプラン」、「意識向上」、「人事管理」、「人材確保」、「能力開発」の六つの視点から人材育成に取り組みます。	人材育成基本方針に基づいた取組の推進	① 人材育成基本方針に基づき、庁内研修、派遣研修、職場研修を実施し、職員一人一人が職位ごとに必要とされる能力開発に努めた。 ② 効果的に人材を育成するため、人材育成基本方針を改定した。	指標なし			
「第2次厚木市定員管理方針」に基づき、質の高いサービスを継続的に提供していくため、職員年齢構成の平準化及び人件費の抑制を図りながら、適正な職員数の確保に取り組みます。	定員管理方針に基づく取組の推進	① 第2次定員管理方針に基づき、業務量の増減に合わせた適切な定員管理に努めた。 ② 方針に位置付けた11取組22項目のうち、実施に向け検討段階の1項目を除く21項目について、実施又は一部実施した。	指標なし			

具体的な施策 4	自主・自立のまちづくりを推進する					
主な取組 ③	公共施設の適正配置の推進					
取組内容	事業名	R5取組実績	取組指標	単位	R4実績値	R5実績値
「厚木市公共施設最適化基本計画」及び「公共施設個別施設計画」に基づき、公共施設の維持管理等費用の軽減・平準化を図るため、施設の設置目的及び利用状況等を考慮しながら、公共施設のより効率的かつ効果的な維持管理・運営方法及び適正配置を推進します。	公共施設最適化推進事業	厚木市公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画に基づき、対象となる事業の計画的な取組を推進した。また、計画に基づく取組の進行管理を行った。 ・対象施設数 3施設	第1期短期再編プログラムの進捗率	%	63.6	100.0